
NEC IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400

クイックスタートガイド

IP88S36-Q001-D0

クイックスタートガイドはよく読み、保管してください。

- ・製品を使用する前に安全上の説明を読み、十分理解してください。
- ・本ガイドはいつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■対象製品

本ガイドは IP8800/S2400 シリーズの IP8800/S2430-24T, IP8800/S2430-24T2X, IP8800/S2430-48T, IP8800/S2430-48T2X, IP8800/S2430-24TD, IP8800/S2430-24T2XD, IP8800/S2430-48TD の 7 モデルと, IP8800/S3600 シリーズの IP8800/S3630-24T, IP8800/S3630-24T2X, IP8800/S3630-24P, IP8800/S3630-24TD, IP8800/S3630-24T2XD, IP8800/S3630-24S2XW, IP8800/S3630-48TW, IP8800/S3630-48T2XW, IP8800/S3640-24T, IP8800/S3640-24TW, IP8800/S3640-24T2XW, IP8800/S3640-24SW, IP8800/S3640-24S2XW, IP8800/S3640-48TW, IP8800/S3640-48T2XW, IP8800/S3650-24T6XW, IP8800/S3650-48T4XW, IP8800/S3650-20S6XW の 18 モデルと, IP8800/S3800 シリーズの IP8800/S3830-32X4QW, IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW, IP8800/S3830-44X4QS の 4 モデルについて内容を記載しています。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には, 外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ, 必要な手続きをお取りください。なお, 不明な場合は, 弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

- ・ Ethernet は, 富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ イーサネットは, 富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ Windows は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他, 各会社名, 各製品名は, 各社の商標または登録商標です。

■クイックスタートガイドはよく読み, 保管してください。

製品を使用する前に, 安全上の説明を読み, 十分理解してください。
本ガイドは, いつでも参照できるよう, 手近な所に保管してください。

■ご注意

本ガイドの内容については, 改良のため, 予告なく変更する場合があります。

■電波障害について

この装置は, クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

■高調波規制について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

適合装置:

IP8800/S2430-24T
IP8800/S2430-24T2X
IP8800/S2430-48T
IP8800/S2430-48T2X
IP8800/S3630-24T
IP8800/S3630-24T2X
IP8800/S3630-24P
IP8800/S3630-24S2XW
IP8800/S3630-48TW
IP8800/S3630-48T2XW
IP8800/S3640-24T

IP8800/S3640-24TW
IP8800/S3640-24T2XW
IP8800/S3640-24SW
IP8800/S3640-24S2XW
IP8800/S3640-48TW
IP8800/S3640-48T2XW
IP8800/S3650-24T6XW
IP8800/S3650-48T4XW
IP8800/S3650-20S6XW
IP8800/S3830-32X4QW
IP8800/S3830-44XW
IP8800/S3830-44X4QW
IP8800/S3830-44X4QS
EPU-A
EPU-B

■ 発行

2005 年 12 月（初版）IP88S36-Q001（廃版）
2005 年 12 月（第 2 版）IP88S36-Q001-10（廃版）
2006 年 7 月（第 3 版）IP88S36-Q001-20（廃版）
2007 年 1 月（第 4 版）IP88S36-Q001-30（廃版）
2007 年 4 月（第 5 版）IP88S36-Q001-40（廃版）
2007 年 11 月（第 6 版）IP88S36-Q001-50（廃版）
2011 年 1 月（第 7 版）IP88S36-Q001-60（廃版）
2011 年 8 月（第 8 版）IP88S36-Q001-70（廃版）
2011 年 12 月（第 9 版）IP88S36-Q001-80（廃版）
2012 年 6 月（第 10 版）IP88S36-Q001-90（廃版）
2013 年 5 月（第 11 版）IP88S36-Q001-A0（廃版）
2015 年 7 月（第 12 版）IP88S36-Q001-B0（廃版）
2016 年 10 月（第 13 版）IP88S36-Q001-C0（廃版）
2020 年 7 月（第 14 版）IP88S36-Q001-D0

■ 著作権

Copyright(C) NEC Corporation 2005,2020. All rights reserved.

はじめに

このたびは、NEC コンパクト・ギガビットレイヤ 2 スイッチ IP8800/S2400 シリーズ、NEC コンパクト・ギガビットレイヤ 3 スイッチ IP8800/S3600 シリーズおよび NEC コンパクト・10 ギガビットレイヤ 3 スイッチ IP8800/S3800 シリーズをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本ガイドは、IP8800/S3800、IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズについて、装置の開梱から、基本的な設定を行うまでの手順について説明しています。

また、本装置を安定してお使いいただくために、IP8800/S3800、IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズのマニュアルのご利用方法についても記載しています。

■本ガイドの流れ

機器をセットアップするには、以下の流れで本ガイドを参照してください。

安全にお取り扱いいただくために



IP8800/S3800、IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズを安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。本装置をお使いになる前に必ずお読みください。

1章 準備



本装置をお使いいただくために必要なものを準備します。また、IP8800/S3800、IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズのマニュアル体系や、本ガイドの位置づけ、マニュアルの参照方法について説明しています。

2章 機器の設置



装置の概観や、機器を開梱してから電源の投入を行なうまでの手順について説明しています。

3章 初期導入時に必要な操作



本装置を起動してから、時刻の設定、ユーザIDの設定、装置管理者モードのパスワード設定など、初期導入時に行なう操作について説明しています。

4章 その後の作業



本装置に詳細な設定を行なう場合や、運用状態の確認、トラブル発生時に参照するマニュアルについて説明しています。

■対象読者

本ガイドは、IP8800/S3800、IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズの設置や取り扱いを担当する技術者を対象としています。そのため、電気回路や配線およびネットワークに関する知識を持っていることを前提としています。

目次

はじめに	I
安全にお取り扱いいただくために	安全－ 1
1 準備	1
1.1 IP8800/S3800, IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズのマニュアル体系	2
1.2 IP8800/S3800, IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズのマニュアル参照方法	5
1.3 同梱品の確認	6
1.4 必要なものの準備	7
2 機器の設置	9
2.1 機器の設置	10
2.1.1 装置本体のみ設置する場合	10
2.1.2 予備電源機構（EPU）を使用する場合	50
2.2 その他の作業	70
3 初期導入時に必要な操作	71
3.1 コマンド入力モードの概要	72
3.2 初期導入時の操作の概要	74
3.3 ログイン	75
3.4 装置管理者モードのパスワード設定	76
3.5 ユーザ ID の追加と「operator」の削除	77
3.6 時刻の設定	78
4 その後の作業	79
4.1 本装置の操作の詳細について	80
4.2 トラブルシュート	82

安全にお取り扱いいただくために

■ IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 シリーズを正しく安全にお使いいただくために

- 本マニュアルには、IP8800/S3800, IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズを安全にお使いいただくための注意点を記載しています。ご使用前に本マニュアルを最後までお読みください。
- 本マニュアルはすぐ利用できるよう、お読みになった後は取り出しやすいところに保管してください。
- 操作は、本マニュアルの指示、手順に従って行ってください。
- 装置および本マニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。これを怠ると、人身上の傷害や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

■ ご使用前に

● 表示について

本マニュアルおよび装置への表示では、装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、装置の損傷または周囲の財物の損害を引き起こす可能性があります。

NOTE

この表示は、人身の安全や装置の損害に関係しない補足説明であることを示しています。

■ 操作や動作は

- 本マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

装置について何か問題が発生した場合は、電源を切り、電源ケーブルを抜いたあと、保守員をお呼びください。

■ 自分自身でもご注意を

装置や本マニュアルに表示されている注意事項は十分検討されたものです。

それでも予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作にあたっては指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。



■万一、異常が発生したときはすぐに装置の電源を切ってください。

- 万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常が発生した場合や、装置の内部に異物や水などが入った場合は、以下の方法で装置の電源を切ってください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常発生時の対処方法

異常が発生した装置		対処方法
AC 電源モデル AC 電源 (PoE) モデル	予備電源機構 (EPU) を使用していない場合	本装置の電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。
	予備電源機構 (EPU) を使用している場合	本装置および本装置に給電を行っている電源モジュールの電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。
DC 電源モデル		本装置の電源を切り、電源設備のブレーカを OFF にしてください。
電源冗長モデル	AC 電源機構 (PS-A01, PS-A03, PS-A05) を搭載している場合	本装置に搭載されている全ての電源機構の電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。
	AC 電源機構 (PS-A06) を搭載している場合	本装置に取り付けられている全ての電源ケーブルのプラグをコンセントから取り外してください。
	DC 電源機構 (PS-D01, PS-D03, PS-D05) を搭載している場合	本装置に搭載されている全ての電源機構の電源を切り、電源設備のブレーカを OFF にしてください。
	DC 電源機構 (PS-D06) を搭載している場合	本装置に取り付けられている電源ケーブルを接続した全ての電源設備のブレーカを OFF にしてください。
EPU		EPU の電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。

■コンセントは装置近傍に設置してください。

電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントは装置近傍に設置してください。またコンセントの周りには物を置かないでください。

警告

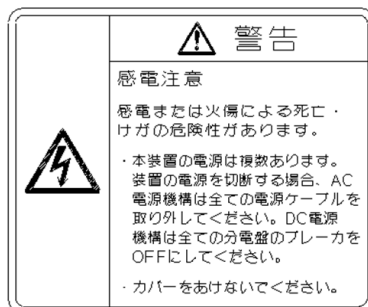
■装置の電源を切断する場合は、装置への給電を全て停止させてください。

- AC 電源モデルの装置および AC 電源（PoE）モデルの装置で予備電源機構（EPU）から給電を行っている場合、装置本体の電源スイッチを OFF にしただけでは装置の電源は切断されません。電源を切断する場合は、装置本体および電源モジュールの電源スイッチを OFF にしてください。装置には以下のラベルを貼り付けています。
- 電源冗長モデルの装置で電源を冗長化している場合、どちらか一方の電源スイッチを OFF にしただけでは本装置の電源は切断されません。電源を切断する場合は、本装置に搭載されている全ての電源機構のスイッチを OFF にしてください。装置には以下のラベルを貼り付けています。
- 電源冗長モデル（IP8800/S3830-32X4QW）で電源を冗長化している場合、どちらか一方の電源ケーブルを取り外す、または電源設備のブレーカを OFF するだけでは本装置の電源は切断されません。電源を切断する場合は、AC 電源機構では本装置に接続されている全ての電源ケーブルを取り外す、DC 電源機構では電源設備のブレーカを OFF してください。装置には以下のラベルを貼り付けています。

[IP8800/S2400, IP8800/S3600, IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW,
IP8800/S3830-44X4QS, EPU]



[IP8800/S3830-32X4QW]



■異物を入れないでください。

- 装置の入排気孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

警告

■ RESET スイッチを押す場合、先の折れやすいものや、虫ピン、クリップなど、中に入って取り出せなくなるようなものは使用しないでください。

- RESET スイッチを押す場合、先の折れやすいものや、虫ピン、クリップなど、中に入って取り出せなくなるようなものは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

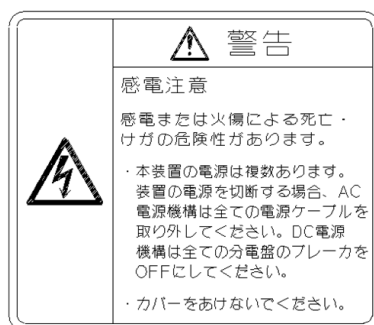
■ 装置のカバーをあけないでください。

- 装置のカバーをあけないでください。感電の原因となります。装置には以下のラベルを貼り付けています。

[IP8800/S2400, IP8800/S3600, IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW,
IP8800/S3830-44X4QS, EPU]



[IP8800/S3830-32X4QW]



■ 改造しないでください。

- 装置を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 衝撃を与えないでください。

- 万一、装置を落としたり部品を破損した場合は、装置の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて保守員にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 装置の上に物を置かないでください。

- 装置の上に虫ピン、クリップなどの金属物や花びん、植木鉢など水の入った容器を置かないでください。

い。中に入った場合、火災・感電の原因となります。



■表示以外の電源で使用しないでください。

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

■分電盤へ給電される電流容量は、ブレーカの動作電流より大きくなるようにしてください。

- 分電盤へ給電される電流容量は、ブレーカの動作電流より大きくなるようにしてください。分電盤への電流容量がブレーカの動作電流より小さいと、異常時にブレーカが動作せず、火災の原因となることがあります。

■接地をしてください。

- AC 電源モデル、AC 電源（PoE）モデル、電源冗長モデル（AC 電源機構を搭載している場合）、および予備電源機構（EPU）では、必ず接地付きのコンセントを使用してください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。
- DC 電源モデルおよび電源冗長モデル（DC 電源機構を搭載している場合）では、接地用ケーブルを接続して、接地をしてください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。

■DC 電源設備は、1 次側と 2 次側が絶縁されたものを使用してください。

- DC 電源を使用する場合、電源設備は 1 次側と 2 次側が絶縁されたものを使用してください。絶縁されていない電源設備を使用すると、感電の原因となります。

■DC-48V 用電源ケーブルの取り付け、取り外しは教育を受けた技術者または保守員が行ってください。

- DC-48V 用電源ケーブルの電源設備への取り付け、取り外しは教育を受けた技術者または保守員が行ってください。DC-48V 用電源ケーブルは電源設備へ端子接続を行います。そのため、DC-48V 用電源ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。

■DC-48V 用電源ケーブルの取り付け、取り外しを行う場合は、電源設備のブレーカを OFF にして作業を行ってください。

- DC-48V 用電源ケーブルの取り付け、取り外しを行う場合は、電源設備のブレーカを OFF にして作業を行ってください。電源設備のブレーカを ON にしたまま作業を行うと、火災・感電の原因となります。

■DC-48V 用電源ケーブルの G 端子および -48V 端子には絶縁カバーを取り付けてください。

- DC-48V 用電源ケーブル（電源設備に接続する側）の G 端子および -48V 端子に絶縁カバーを取り付けてください。絶縁カバーを取り付けずに使用すると、感電の原因となります。



■ DC 電源ケーブルのシースのむき代は、指定の長さを守ってください。

- 電源冗長モデルの装置で DC 電源ケーブルを使用する場合、電源ケーブルのシースのむき代（本装置側）は指定の長さになるようにしてください。むき代の長さについては、ハードウェア取扱説明書を参照してください。

むき代が短すぎると接触不良となったり、ケーブルが抜ける原因となります。

また、長すぎると芯線が露出して、火災・感電の原因となります。

■ 保護キャップを取り外したまま使用しないでください。

- 保護キャップは、ケーブルを取り付けるとき以外は取り外さないでください。保護キャップを取り外したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

なお、予備電源機構 EPU-B では、出力電力が高いため、予備電源給電コネクタ付近に以下のラベルを貼り付けています。



■ 本製品は屋内で使用してください。

- 本製品は屋内で使用してください。また、全てのインタフェースケーブルは、屋内配線されているものを接続してください。屋外配線されているケーブルを接続する場合は、雷に対する対策を必ず施した上で接続してください。

■ 電源ケーブルを大切にしてください。

- 電源ケーブルの上に重いものを乗せたり、引っ張ったり、折り曲げたり、加工したりしないでください。電源ケーブルが傷ついて、火災・感電の原因となります。ケーブルの上を敷きものなどでおおうことにより、それに気づかないで重い物を乗せてしまうことがあります。
- 電源ケーブルは付属または指定のものを使用してください。それ以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。また、付属の電源ケーブルを本製品以外で使用しないでください。本製品以外で使った場合、火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線など）保守員に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源プラグはほこりが付着していない事を確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

■ タコ足配線はしないでください。

- 同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。タコ足配線は、火災の原因となるとともに、電力使用量がオーバーしてブレーカが落ち、ほかの機器にも影響をおよぼします。



■電源機構の取り付け、取り外しを行う場合は電源ケーブルを取り外してください。

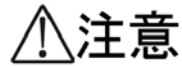
- 電源機構の取り付け、取り外しを行う場合は、電源機構から電源ケーブルを取り外してください。電源ケーブルを接続していると、電源スイッチを OFF にしていても一部の回路に通電しています。そのため、電源ケーブルを取り付けたまま電源機構の取り付け、取り外しを行うと、火災・感電の原因となります。

■増設および交換作業は教育を受けた技術者または保守員が行ってください。

- 電源機構、電源モジュールの増設および交換、ファンユニットの交換は、教育を受けた技術者または保守員が行ってください。電源機構の増設および交換では、電源ケーブルの取り付け、取り外しを行います。上記以外の方が作業を行って誤った取り扱いをした場合、火災・感電・装置故障の原因となります。

■エアダスターを火気の近くで使用しないでください。

- 光コネクタの清掃時、可燃性ガスのエアダスターを使用する場合は、火気の近くで使用しないでください。火災の原因となります。



■不安定な場所に置かないでください。

- 装置を卓上に設置する場合、装置の荷重に十分に耐えられる作業机などの上に水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置いた場合、落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
- 装置をラックに搭載する場合には、装置が安定した状態にあるか十分に確認して作業してください。不安定な状態で作業した場合、落下や転倒によるけがの原因となります。

■入排気孔をふさがないでください。

- 装置の入排気孔をふさがないでください。入排気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。入排気孔から 50mm 以上スペースを空けてください。

■髪の毛や物を装置の入排気孔に近づけないでください。

- 装置には冷却用のファンを搭載しています。入排気孔の近くに物を近づけないでください。内部の温度上昇により、故障の原因となるおそれがあります。また、入排気孔の近くに髪の毛や物を近づけないでください。巻き込まれてけがの原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源機構の取っ手やファンユニットの取っ手を持ったり、電源モジュールの取っ手を持ったりしないでください。

- 電源冗長モデルの装置を移動させる場合は、電源機構の取っ手やファンユニットの取っ手を持たないでください。取っ手が外れて装置が落下し、けがの原因となることがあります。また、変形して、火災・感電の原因となることがあります。
- 予備電源機構（EPU）を移動させる場合は、電源モジュールの取っ手を持たないでください。取っ手が外れて装置が落下し、けがの原因となることがあります。また、変形して、火災・感電の原因となることがあります。

■持ち運ぶときのご注意

- 移動させる場合は装置の電源を切り、すべてのケーブル類を装置から外してから行ってください。装置やケーブルが変形したり、傷ついたりして、火災・感電の原因となることがあります。
- 輸送時に積み重ねる場合は、梱包箱に入れてください。装置が変形したり、傷ついたりして、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 電源ケーブルを粗雑に扱わないでください。

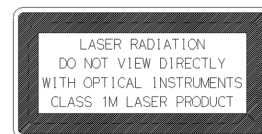
- 電源ケーブルを熱器具に近づけないでください。ケーブルの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
- AC 電源ケーブルをコンセントに差し込むとき、または抜くときはケーブルのプラグ部分を持って行ってください。ケーブルを引っ張ると断線の原因となります。
- DC 電源ケーブルの取り付け、取り外しをするときはケーブルのコネクタ部分を持って行ってください。ケーブルを引っ張ると断線の原因となります。

■ 金属アレルギーの方は、直接触らないでください。

- 本装置には、亜鉛、ニッケル、金などのメッキが施されています。これらの金属に対してアレルギーの反応を示す方は、機器に直接触らないでください。湿疹、かぶれの原因となることがあります。

■ レーザー光に注意してください。

- 本装置ではレーザー光を使用しています（レーザー光は無色透明で目には見えません）。光送受信部を直接のぞいたり、光学機器を通してのぞいたりしないでください。IP8800/S3830-32X4QW, IP8800/S3830-44X4QW, IP8800/S3830-44X4QS はクラス 1M レーザー製品、それ以外の装置はクラス 1 レーザー製品です。



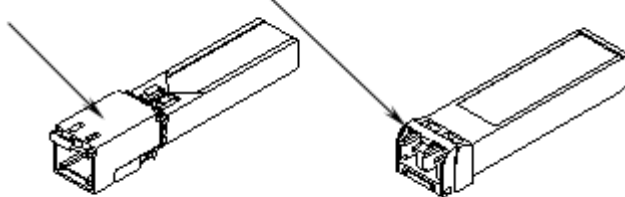


注意

■ SFP-T, SFP-T(T), SFPP-ZR 動作中および動作停止直後は手を触れないでください。

- SFP-T, SFP-T(T), SFPP-ZR 動作中（リンク確立中）の温度は、最高 65 °Cになります。動作中および動作停止直後は手を触れないでください。やけどの原因となります。

高温注意
(動作中は上下, 両側面すべて
高温になっています。)



SFP-T, SFP-T(T)

SFPP-ZR

- なお、SFP-T, SFP-T(T), SFPP-ZR を取り外す場合は以下の手順に従ってください。以下の手順に従わないと、やけどの原因となります。
 - ・装置の電源を入れたままで取り外す場合は、SFP スロット、SFP+ スロットを shutdown コマンドにて閉塞した後、トランシーバの表面温度が十分に冷めたことを確認してから取り外してください。
 - ・装置の電源を切断して取り外す場合は、電源を切断した後、トランシーバの表面温度が十分に冷めたことを確認してから取り外してください。
- SFP-T, SFP-T(T), SFPP-ZR には以下のマークが表示されたラベルを貼り付けています。



■ 湿気やほこりの多いところに置かないでください。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 低温から高温の場所など温度差が大きい場所へ移動させた場合、表面や内部で結露することがあり、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。そのままその場所で数時間放置してから使用してください。

■ 乗ったり、よりかかったり、重い物を置いたりしないでください。

- 装置に乗ったり、よりかかったりしないでください。装置を破損するおそれがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 装置本体の上に 5kg を超える物を置かないでください。装置を破損するおそれがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

注意

■装置の内部に手を触れないでください。

- 装置内部に不用意に手を入れないでください。機構部等でけがの原因となることがあります。

■電源冗長モデル（IP8800/S3630, IP8800/S3640）の電源機構を搭載しないスロットにはファンユニットを取り付けてください。

- 電源冗長モデル（IP8800/S3630, IP8800/S3640）の電源機構を搭載しないスロットには、ファンユニットを取り付けてください。ファンユニットを取り付けずに使用すると、以下の問題が発生するおそれがあります。
 - ・ 装置内部の温度上昇により、障害発生の原因となる
 - ・ 機構部等でけがをする
 - ・ 異物などが入って故障の原因となる
 - ・ 本装置が発生する妨害電波が他の機器に影響を与えたり、他の機器が発生する妨害電波が本装置に影響を与え、誤動作の原因となる

■電源冗長モデル（IP8800/S3830, IP8800/S3650）の電源機構を搭載しないスロットにはブラंकパネルを取り付けてください。

- 電源冗長モデル（IP8800/S3830, IP8800/S3650）の電源機構を搭載しないスロットには、ブラंकパネルを取り付けてください。ブラंकパネルを取り付けずに使用すると、以下の問題が発生するおそれがあります。
 - ・ 装置内部の温度上昇により、障害発生の原因となる
 - ・ 機構部等でけがをする
 - ・ 異物などが入って故障の原因となる
 - ・ 本装置が発生する妨害電波が他の機器に影響を与えたり、他の機器が発生する妨害電波が本装置に影響を与え、誤動作の原因となる

■予備電源機構（EPU）の電源モジュールを搭載しないスロットには、ブラंकパネルを取り付けてください。

- 予備電源機構（EPU）の電源モジュールを搭載しないスロットには、ブラंकパネルを取り付けてください。ブラंकパネルを取り付けずに取り扱えば、機構部等でけがの原因となることがあります。また、異物などが入った場合、故障の原因となります。

■清掃について

- 装置および装置周辺のほこりは、定期的に清掃してください。装置停止の原因となるだけでなく火災・感電の原因となることがあります。

注意

■高温になるところに置かないでください。

- 直射日光が当たる場所やストーブのような熱器具の近くに置くと、部品に悪い影響を与えますので注意してください。

■テレビやラジオを近づけないでください。

- テレビやラジオなどを隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。テレビやラジオに雑音が入った場合は次のようにしてください。
 - ・ テレビやラジオからできるだけ離す。
 - ・ テレビやラジオのアンテナの向きを変える。
 - ・ コンセントを別々にする。

■環境の悪いところに置かないでください。

- 以下のような場所で使用すると、装置の寿命が短くなったり、故障の原因となります。
 - ・ 海岸などの塩分の多いところ
 - ・ 温泉地などの腐食性ガスの発生するところ
 - ・ 油煙が発生するところ
 - ・ 振動が連続するところ

■電源設備は、突入電流による電圧低下が起きないように考慮してください。

- 本装置の電源を投入すると突入電流が流れます。突入電流により、電源設備の電圧低下が起きないように考慮してください。電圧低下が起きると、本装置だけでなく、同じ電源設備に接続された他の機器にも影響をおよぼします。

■電源ケーブルの取り付け、取り外しを行う場合、電源スイッチを OFF にしてください。

- AC 電源モデル、AC 電源（PoE）モデルの装置、および予備電源機構（EPU）の電源ケーブルの取り付け、取り外しを行う場合は、装置本体の電源スイッチを OFF にして行ってください。
- 電源冗長モデルの装置で電源ケーブルまたはケーブル用コネクタの取り付け、取り外しを行う場合は、電源機構のスイッチを OFF にして行ってください。
- 電源冗長モデル（IP8800/S3830-32X4QW）で電源ケーブルまたはケーブル用コネクタの取り付け、取り外しを行う場合は、電源スイッチがないため、AC 電源機構では電源ケーブルのプラグをコンセントから取り外す、DC 電源機構では電源設備のブレーカを OFF にしてから行ってください。
- 予備電源給電ケーブルの場合は、電源モジュールの電源スイッチを OFF にして行ってください。

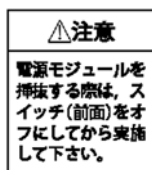
注意

■装置の電源を入れたままで電源機構またはファンユニットを交換する場合、制限時間を守ってください。

- 装置の電源を入れたままで以下の交換作業を行う場合は、取り外してから取り付けるまでを3分以内で行ってください。3分を超えると、装置内部の温度上昇により、障害発生の原因となります。
 - ・電源冗長モデル (IP8800/S3630, IP8800/S3640) で電源機構またはファンユニットを交換する場合
 - ・電源冗長モデル (IP8800/S3650) でファンユニットを交換する場合
- 装置の電源を入れたままで以下の交換作業を行う場合は、取り外してから取り付けるまでを1分以内で行ってください。1分を超えると、装置内部の温度上昇により、障害発生の原因となります。
 - ・電源冗長モデル (IP8800/S3830) でファンユニットを交換する場合

■電源モジュールの取り付け、取り外しを行う場合は、電源スイッチを OFF にしてください。

- 電源モジュールの取り付け、取り外しを行う場合は、取り付け、取り外しを行う電源モジュールの電源スイッチを OFF にしてください。電源モジュールの電源スイッチを ON にしたまま作業を行うと、障害発生や装置故障の原因となります。予備電源機構 (EPU) には以下のラベルを貼り付けています。



- 電源冗長モデル (IP8800/S3830-32X4QW) で電源モジュールの取り付け、取り外しを行う場合は、電源スイッチがないため、AC 電源機構では取り付け、取り外しを行う電源モジュールに取り付けられている電源ケーブルのプラグをコンセントから取り外す、DC 電源機構では電源設備のブレーカを OFF にしてから行ってください。

■予備電源機構 (EPU) の主電源スイッチを ON にする場合は、電源モジュールの電源スイッチを OFF にしてください。

- 予備電源機構 (EPU) の主電源スイッチを ON にする場合は、搭載されている電源モジュールの電源スイッチをすべて OFF にして行ってください。

■装置に予備電源を給電している場合は、予備電源機構 (EPU) の主電源スイッチを OFF にしないでください。

- 予備電源機構 (EPU) の主電源スイッチを OFF にすると、装置への予備電源の給電がすべて停止します。装置に予備電源を給電している場合は、EPU の主電源スイッチを OFF にしないでください。

注意

■ メモリカードおよびダミーメモリカードの取り扱いに注意してください。

- メモリカードおよびダミーメモリカードを取り付ける場合は、カードを強く押したり、指ではじいたりしないでください。また、取り外す場合は、ロックが掛かった状態から無理に引っ張り出したりしないでください。メモリカードスロットのコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 装置本体を移動させる場合は、メモリカードおよびダミーカードを取り外してください。移動中にカードに無理な力が加わると、メモリカードスロットのコネクタ部を破損するおそれがあります。

■ ACC LED 点灯中はメモリカードを取り外したり、電源を切断したりしないでください。

- 装置正面パネルの ACC LED 点灯中はメモリカードにアクセス中です。アクセス中は、メモリカードを取り外したり、電源を切断したりしないでください。メモリカードを破損するおそれがあります。また、一部のコマンドは、コマンド入力後メモリカードのアクセスが終了するまでにしばらく時間がかかります。アクセスが終了したことを確認の上、メモリカードの取り外しや電源の切断を行ってください。

■ トランシーバやダイレクトアタッチケーブルのコネクタにラベルなどを貼り付けたりしないでください。

- トランシーバやダイレクトアタッチケーブルのコネクタには、メーカーおよび弊社の標準品であることを示すラベルを貼り付けています。ただし、このラベルを貼り付けているのは、トランシーバやダイレクトアタッチケーブルのコネクタの放熱およびケージからの抜けを防止する機構の妨げにならない部分です。放熱や抜け防止機構の妨げになるところにラベルなどを貼り付けると、トランシーバやダイレクトアタッチケーブルのコネクタが故障したり、装置を破損したりするおそれがあります。

■ ダイレクトアタッチケーブルと装置は正しい組み合わせで使用してください。

- SFPP-CU30C/CU1M/CU3M/CU5M をサポートしているのは以下の装置です。それ以外の装置で使用しないでください。装置故障の原因となります。(IP8800/S3830-32X4QW では SFPP-CU5M は未サポート)
 - ・ IP8800/S3650-24T6XW (対象ポート 25 ~ 30)
 - ・ IP8800/S3650-20S6XW (対象ポート 25 ~ 30)
 - ・ IP8800/S3650-48T4XW (対象ポート 49 ~ 52)
 - ・ IP8800/S3830-32X4QW (対象ポート 1 ~ 32)
 - ・ IP8800/S3830-44XW (対象ポート 1 ~ 44)
 - ・ IP8800/S3830-44X4QW (対象ポート 1 ~ 44)
 - ・ IP8800/S3830-44X4QS (対象ポート 1 ~ 44)
- QSFP-CU35C/CU1M/CU3M/CU5M をサポートしているのは以下の装置です。それ以外の装置で使用しないでください。装置故障の原因となります。(IP8800/S3830-32X4QW では SFPP-CU5M は未サポート)
 - ・ IP8800/S3830-32X4QW (対象ポート 33 ~ 36)
 - ・ IP8800/S3830-44X4QW (対象ポート 49 ~ 52)
 - ・ IP8800/S3830-44X4QS (対象ポート 49 ~ 52)

注意

■ トランシーバと装置は正しい組み合わせで使用してください。

- SFP-FX, SFP-FX(T) をサポートしているのは以下の装置です。それ以外の装置で使用しないでください。装置故障の原因となります。
 - ・ IP8800/S3640-24SW (対象ポート 5 ~ 24)
 - ・ IP8800/S3640-24S2XW (対象ポート 5 ~ 24)
 - ・ IP8800/S3650-20S6XW (対象ポート 1 ~ 20)
- SFP-SX2, SFP-SX2(T) をサポートしているのは以下の装置です。それ以外の装置で使用しないでください。装置故障の原因となります。
 - ・ IP8800/S2430 シリーズ
 - ・ IP8800/S3630 シリーズ
 - ・ IP8800/S3640 シリーズ
 - ・ IP8800/S3650-20S6XW (対象ポート 1 ~ 20)
- SFPP-ZR をサポートしているのは以下の装置です。それ以外の装置で使用しないでください。装置故障の原因となります。
 - ・ IP8800/S3650 シリーズ
 - ・ IP8800/S3830-32X4QW (対象ポート 1 ~ 32)
 - ・ IP8800/S3830-44XW (対象ポート 37 ~ 44)
 - ・ IP8800/S3830-44X4QW (対象ポート 37 ~ 44)
 - ・ IP8800/S3830-44X4QS (対象ポート 37 ~ 44)

■ PS-D06 を 45 °C を超える環境で長時間使用しないでください。故障の原因となります。

- system temperature-warning-level コマンドで、装置の入気温度が指定温度以上になった場合に運用メッセージを出力することができます。コマンドの詳細についてはコンフィグレーションコマンドレファレンスを参照してください。

■ SFPP-ZR を 40 °C を超える環境で使用しないでください。誤動作、故障の原因となります。

- system temperature-warning-level コマンドで、装置の入気温度が指定温度以上になった場合に運用メッセージを出力することができます。コマンドの詳細についてはコンフィグレーションコマンドレファレンスを参照してください。

■ ST1 LED 緑点滅中（点灯 0.5 秒，消灯 0.5 秒）は装置の電源を切断しないでください。

- 以下のような場合は、装置正面パネルの ST1 LED が緑点滅（点灯 0.5 秒，消灯 0.5 秒）から緑点灯に変わるまで装置の電源を切断しないでください。装置が故障するおそれがあります。
 - ・ ソフトウェアのアップデート中

注意

■装置およびオプション機構の持ち運び、梱包などを行う場合は、静電気防止用のリストストラップを使用してください。

- 静電気防止用リストストラップを使用してください。静電気防止用リストストラップを使用しないで取り扱った場合、静電気により機器を損傷することがあります。

■オプション機構の持ち運び、梱包の際は取り扱いに注意してください。

- トランシーバ、ダイレクトアタッチケーブル、メモリカード、電源機構、ファンユニット、および電源モジュールの持ち運び、梱包の際には、コネクタ部には手をふれないでください。また、保管する場合は静電防止袋の中に入れてください。

■ダイレクトアタッチケーブルのプルタブを無理に引っ張らないようにしてください。

- ダイレクトアタッチケーブルを取り外す場合、ダイレクトアタッチケーブルのバックシェル部を装置方向に水平に指で押し込んでいる状態で、ゆっくり力を加えながらプルタブを引っ張ってください。無理にプルタブを引っ張ると、プルタブが切れてダイレクトアタッチケーブルの故障の原因となります。

■ SFP および SFP+ のレバーを無理に引っ張らないようにしてください。

- SFP および SFP+ トランシーバの取り外しがしにくい場合は、レバーを下ろした状態で、トランシーバの本体を装置の方向に指で押し込み、トランシーバを取り外すことができないか確認してください。無理にレバーを引っ張ると、トランシーバ故障の原因となります。

■ QSFP+ のレバーやプルタブを無理に引っ張らないようにしてください。

- QSFP+ トランシーバの取り外しがしにくい場合は、トランシーバの本体を装置の方向に指で押し込み、ゆっくり力を加えながらレバーまたはプルタブを引っ張って下さい。無理にレバーやプルタブを引っ張ると、レバーやプルタブの破損などトランシーバ故障の原因となります。

■ トランシーバの取り付けと取り外しは、必要以上に行わないでください。

- トランシーバの取り付けと取り外しは、必要以上に行わないでください。トランシーバの取り付けおよび取り外しを過度に行うと、耐用年数が短くなる場合があります。

注意

■エアダスターの取り扱いに注意してください。

- エアダスターは光コネクタ清掃用のものを使用してください。光コネクタ清掃用以外のものを使用すると、フェルール端面を汚すおそれがあります。
- フェルール端面にエアダスターのノズルや容器が触れないようにしてください。故障の原因となります。

■光コネクタクリーナーの取り扱いに注意してください。

- 光コネクタクリーナーは専用のものを使用してください。専用以外のものを使用すると、フェルール端面を汚すおそれがあります。
- 清掃を行う前に、光コネクタクリーナーの先端部分を点検して、布破れ、汚れ、異物付着等の異常がないことを確認してください。先端部分に異常があるものを使用すると、フェルール端面を傷つけるおそれがあります。
- 清掃するとき、過剰な力で押し付けしないでください。フェルール端面を傷つけるおそれがあります。
- 光コネクタクリーナー（スティックタイプ）の回転は時計方向のみとしてください。時計方向・反時計方向への相互回転しながら使用すると、フェルール端面を傷つけるおそれがあります。

■お手入れのときは

- 装置外装の汚れは、乾いたきれいな布、あるいは、布に水か中性洗剤を含ませてかたく絞ったもので、汚れた部分を拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の有機溶剤や薬品、化学ぞうきん、殺虫剤は、変形・変色および故障の原因となることがあるので使用しないでください。

■長時間ご使用にならないとき

- 長期間の休みや旅行などで長時間装置をご使用にならないときは、安全のため電源ケーブルをコンセントから抜いてください。DC 電源を使用している場合には、電源設備側のブレーカを OFF にしてください。

■この装置の廃棄について

- この装置を廃棄する場合は、地方自治体の条例または規則に従い廃棄するか、地域の廃棄物処理施設にお問い合わせください

安全にお取り扱いいただくために

1

準備

この章では、本装置をお使いいただくために必要なものを準備します。また、IP8800/S3800、IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズのマニュアル体系や、本ガイドの位置づけ、マニュアルの参照方法について説明します。

1.1 IP8800/S3800、IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズのマニュアル体系

1.2 IP8800/S3800、IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズのマニュアル参照方法

1.3 同梱品の確認

1.4 必要なものの準備

1.1 IP8800/S3800, IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズのマニュアル体系

IP8800/S3800, IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズのマニュアル体系を下記に示します。

本ガイドでは、装置を開梱してから基本的な設定を行うまでの操作方法についてのみ説明しています。

本ガイドで説明するのは最低限必要な情報だけです。IP8800/S3800, IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズの豊富な機能を活用していただくには、下記のマニュアルを参照してください。

● IP8800/S2400 シリーズのマニュアル体系

図 1-1 IP8800/S2400 シリーズのマニュアル体系



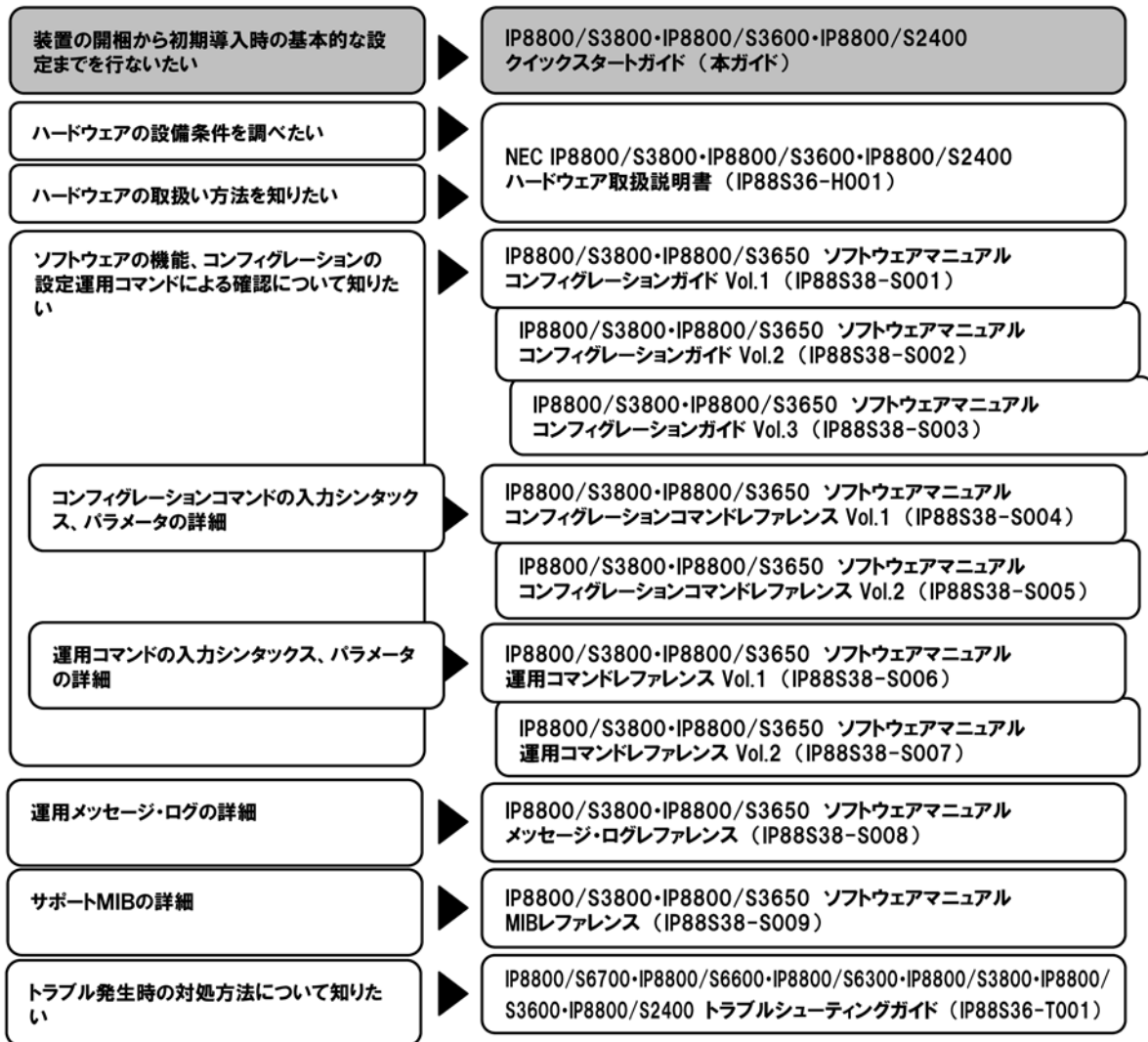
● IP8800/S3640 および IP8800/S3630 シリーズのマニュアル体系

図 1-2 IP8800/S3640 および IP8800/S3630 シリーズのマニュアル体系



● IP8800/S3800 および IP8800/S3650 シリーズのマニュアル体系

図 1-3 IP8800/S3800 および IP8800/S3650 シリーズのマニュアル体系



1.2 IP8800/S3800, IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズのマニュアル参照方法

IP8800/S3800, IP8800/S3600 および IP8800/S2400 シリーズのマニュアルは、下記のホームページから参照してください。

<https://jpn.nec.com/ip88n/>

1.3 同梱品の確認

同梱品チェックリストを使い、すべての同梱品がそろっていることを確認します。

NOTE

同梱品チェックリストは、装置本体の他に、電源機構、ファンユニット、予備電源機構 (EPU)、電源モジュール、トランシーバなどのオプションにも添付されています。オプションをご購入いただいている場合は、オプションの同梱品も確認してください。

1.4 必要なものの準備

セットアップには、本体およびオプションの他に、以下の機器を準備してください。

● セットアップ端末

以下に示す機能をサポートするパーソナルコンピュータまたはワークステーションを準備してください。

表 1-1 セットアップ端末の仕様

項 目		仕 様
通信ポート		RS-232C ポート
通信ソフト		Tera Term Pro (Version 2.3) または下記「通信設定」を満たした通信ソフト
通信設定	通信手順	ZMODEM 手順
	通信パラメータ	8 ビット, 1 ストップビット, パリティ無し
	通信速度 *1	19,200bit/s, 9,600bit/s, 4,800bit/s, 2,400bit/s, 1,200bit/s
その他		CD-ROM ドライブ *2

*1 工場出荷時、本装置の CONSOLE ポートの通信速度は 9,600bit/s に設定しています。

*2 オプションライセンスのインストールに使用します。

● RS-232C クロスケーブル

装置本体とセットアップ端末の接続には RS-232C クロスケーブルを使用します。装置本体側のコンソールポートの形状に合わせて、必要な RS-232C クロスケーブルを準備してください。(本装置にはケーブルは添付されておりません。これらのケーブルは、一般の電気店で購入することができます。)

- ・装置本体のコンソールポートが D-sub 9 ピンの場合は、RS-232C クロスケーブル (両端が D-sub 9 ピン (メス) で固定ネジは #4-40 インチネジ) を用意してください。
- ・装置本体のコンソールポートが RJ-45 の場合は、RS-232C クロスケーブル (RJ-45 (オス) - D-sub 9 ピン (メス)) を用意してください。

RS-232C クロスケーブルのピン配置を以下に示します。

図 1-4 RS-232C クロスケーブルのピン配置

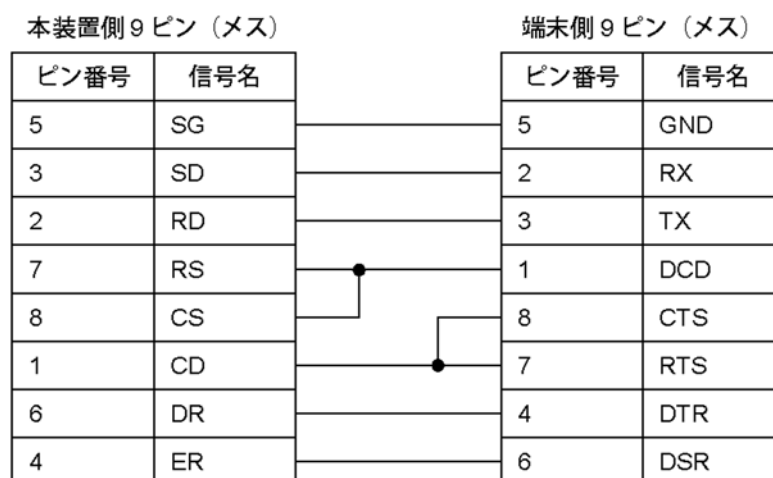
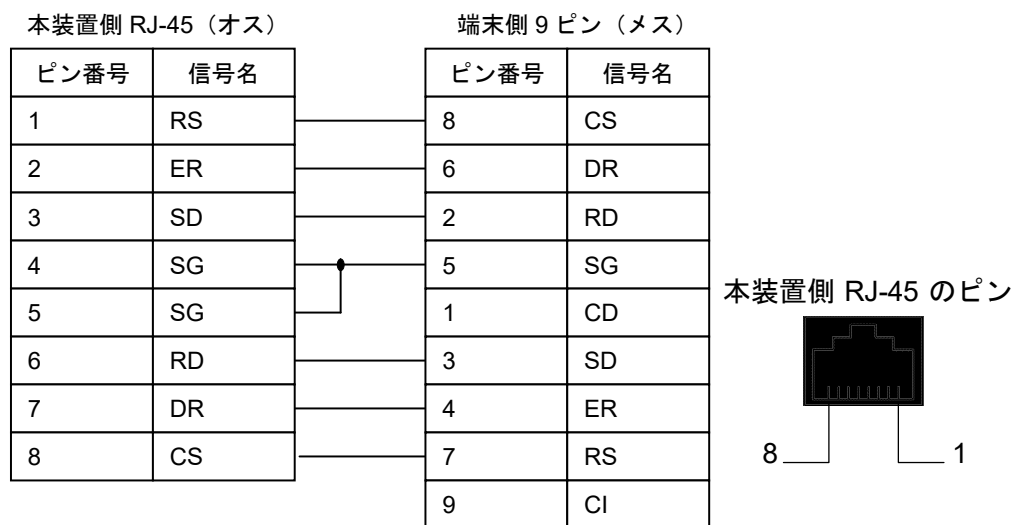


図 1-5 RS-232C クロスケーブル (RJ45 - D-sub9) のピン配置



● インタフェースケーブル

他の機器との接続にはインタフェースケーブルが必要です。インタフェースケーブルの詳細については、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

● AC200V 電源ケーブル

AC 電源モデルおよび電源冗長モデルを AC200V で使用する場合に必要です。AC200V 電源ケーブルの準備の詳細については、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

● DC 電源ケーブル

電源冗長モデル (IP8800/S3630, IP8800/S3640) を DC-48V で使用する場合に必要です。DC 電源ケーブルの準備の詳細については、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

2

機器の設置

この章では、装置を 19 型キャビネットラックに取り付け、電源を投入するまでの手順について説明します。

2.1 機器の設置

2.2 その他の作業

2.1 機器の設置

ここでは、装置を 19 型キャビネットラックに取り付け、電源を投入するまでの手順について説明します。

2.1.1 装置本体のみ設置する場合

【ステップ 1】 装置本体の設置

次の手順で装置本体を 19 型キャビネットラックに搭載します。



電源冗長モデルの装置を移動させる場合は、電源機構の取っ手やファンユニットの取っ手を持たないでください。取っ手が外れて装置が落下し、けがの原因となることがあります。また、変形して、火災・感電の原因となることがあります。

NOTE

卓上に設置する場合は、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

NOTE

付属のラック固定金具は M5 のネジに対応しています。M5 のネジに対応したラックを準備してください。

NOTE

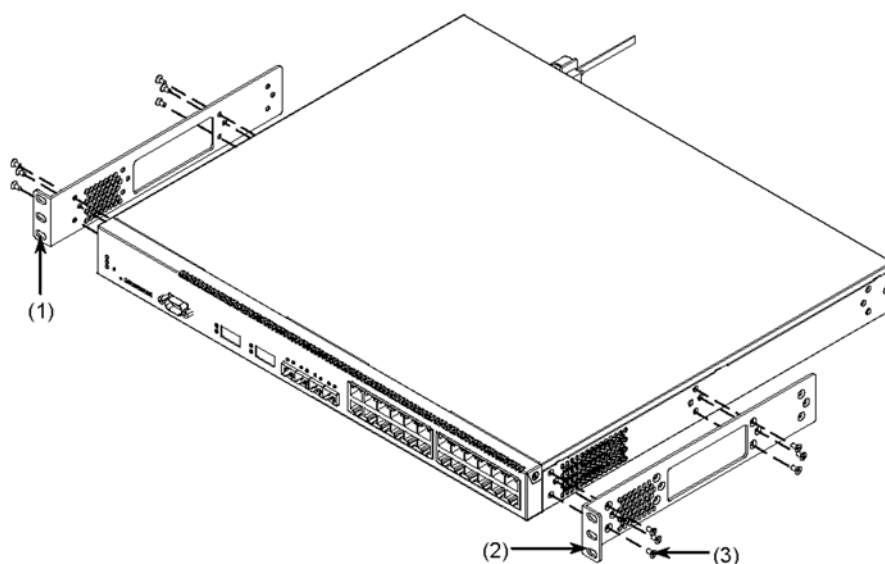
IP8800/S3650 シリーズおよび IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW ではメモ리카ードスロット上部に取り付け、取り外しを行うための空間が必要です。他の機器の下に本装置を設置する場合は、機器のオプションやケーブルなど機器正面より飛び出しているものを考慮の上、空間を設けてください。

1. 装置本体にラック固定金具を取り付けます。

NOTE

ラック固定金具を装置に取り付けるときには、付属のネジを使用してください。

図 2-1 ラック固定金具の取り付け (IP8800/S2400, IP8800/S3600, IP8800/S3830-32X4QW)



- (1) ラック固定金具 (L)
- (2) ラック固定金具 (R)
- (3) ネジ (M3 × 6, 12 本)

NOTE

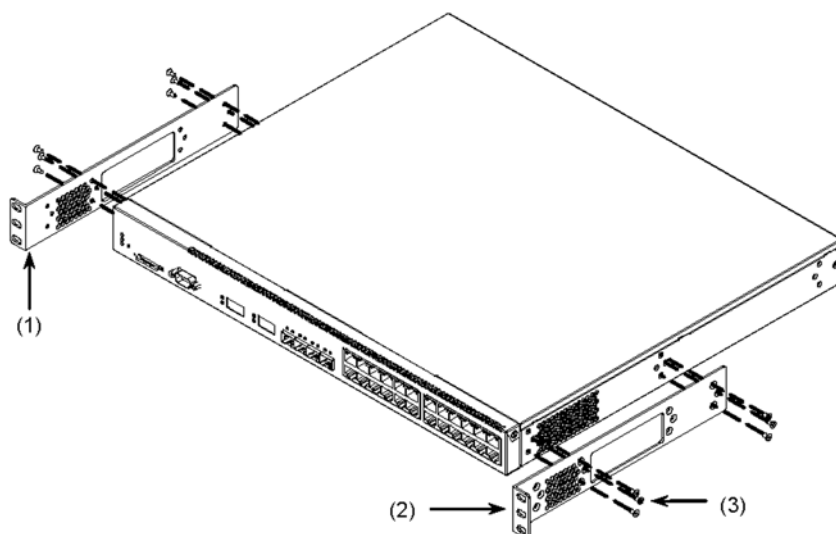
ラック固定金具には (L) と (R) があります。ラック固定金具 (L) には金具側面に「L」の刻印が、ラック固定金具 (R) には「R」の刻印があります。

NOTE

ラック搭載時、本装置の正面側にスペース (ケーブル引き出し用) が確保できない場合は、次図のようにラック固定金具を前面側に 50mm 突出させて取り付けてください。本装置の正面側に必要なスペース (ケーブル引き出し用) については、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

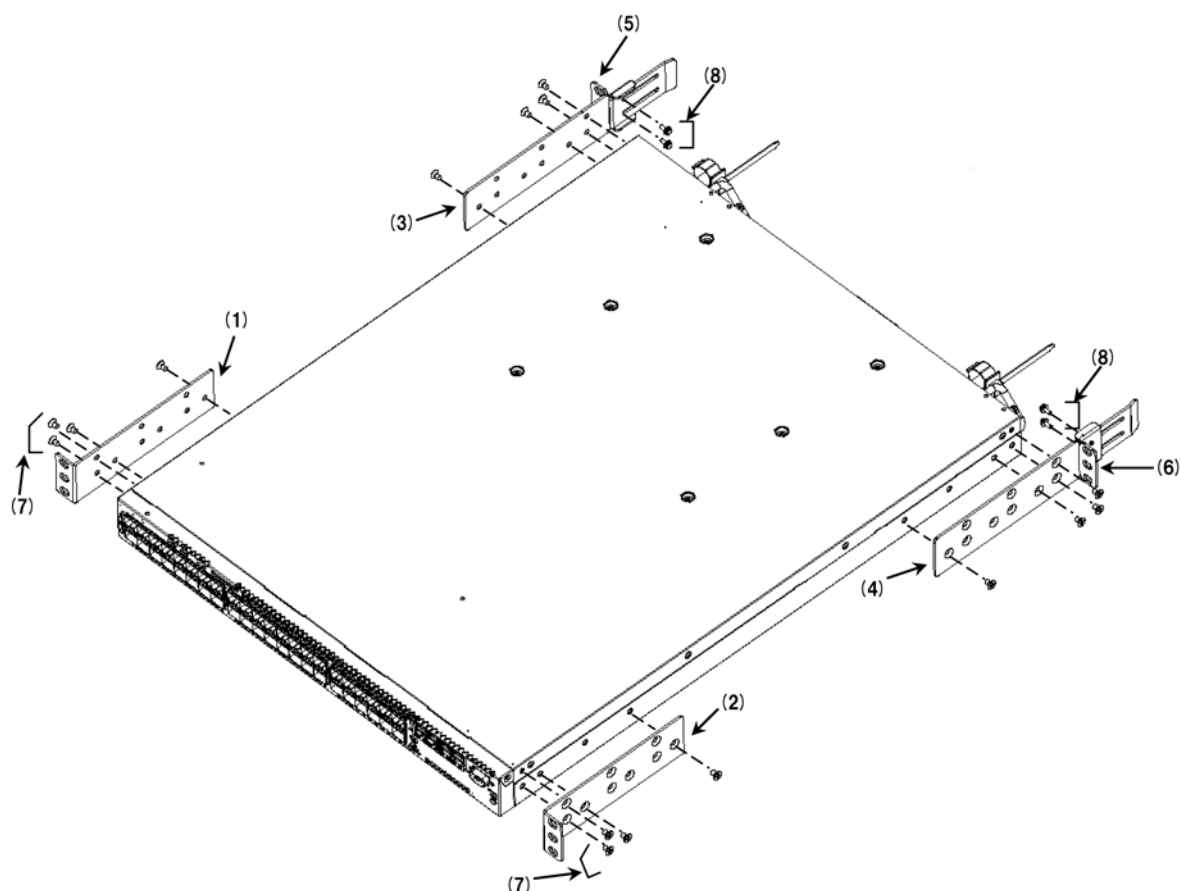
2. 機器の設置

図 2-2 ラック固定金具の取り付け【50mm 奥に調整する場合】（IP8800/S2400, IP8800/S3600, IP8800/S3830-32X4QW の例）



- (1) ラック固定金具 (L)
- (2) ラック固定金具 (R)
- (3) ネジ (M3 × 6, 12 本)

図 2-3 ラック固定金具の取り付け (IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW)



- (1) ラック固定金具—正面用 (L)
- (2) ラック固定金具—正面用 (R)
- (3) ラック固定金具—背面用 (L)
- (4) ラック固定金具—背面用 (R)
- (5), (6) ラック固定金具—背面取り付け用 (L/R 共通)
- (7) ネジ (M4 × 6, 16 本)
- (8) ネジ (M3 × 8, 4 本)

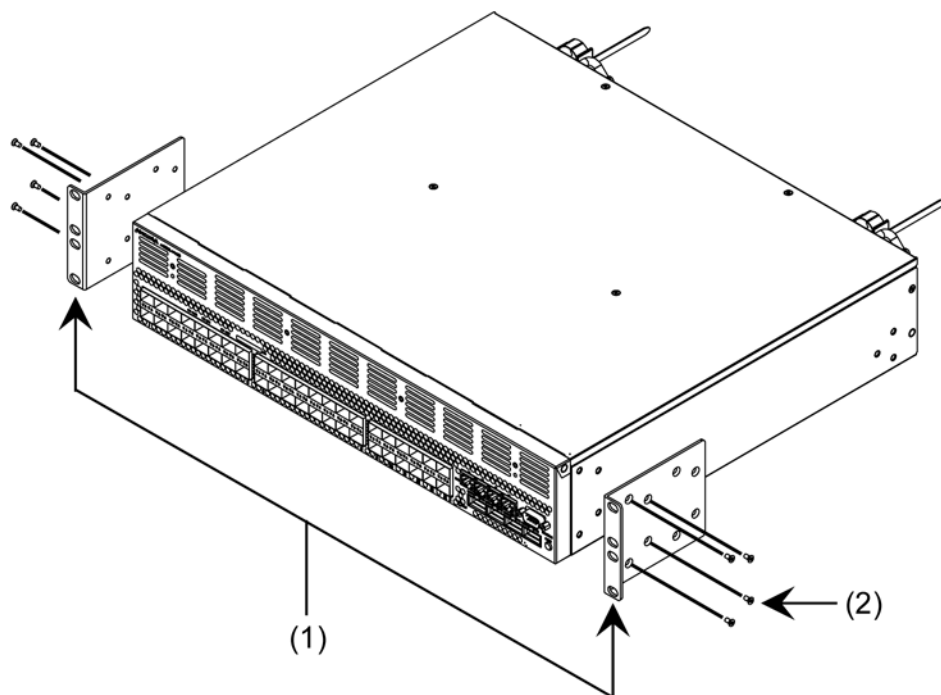
NOTE

ラック固定金具には正面用 (L)/(R) と背面用 (L)/(R) と背面取り付け用 (L/R 共通) があります。ラック固定金具の正面用 (L)/(R) には金具側面に「FL」「FR」の刻印が、ラック固定金具の背面用 (L)/(R) には金具側面に「RL」「RR」の刻印があります。背面取り付け用 (L/R 共通) の金具形状は共通であり、識別のための刻印はありません。

NOTE

IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW は正面および背面の固定金具の取り付け位置を調整することで、ラック柱前後間隔は 620~655, 670~705, 720~755, 770~805, 820~855mm の範囲に対応可能です。

図 2-4 ラック固定金具の取り付け (IP8800/S3830-44X4QS)



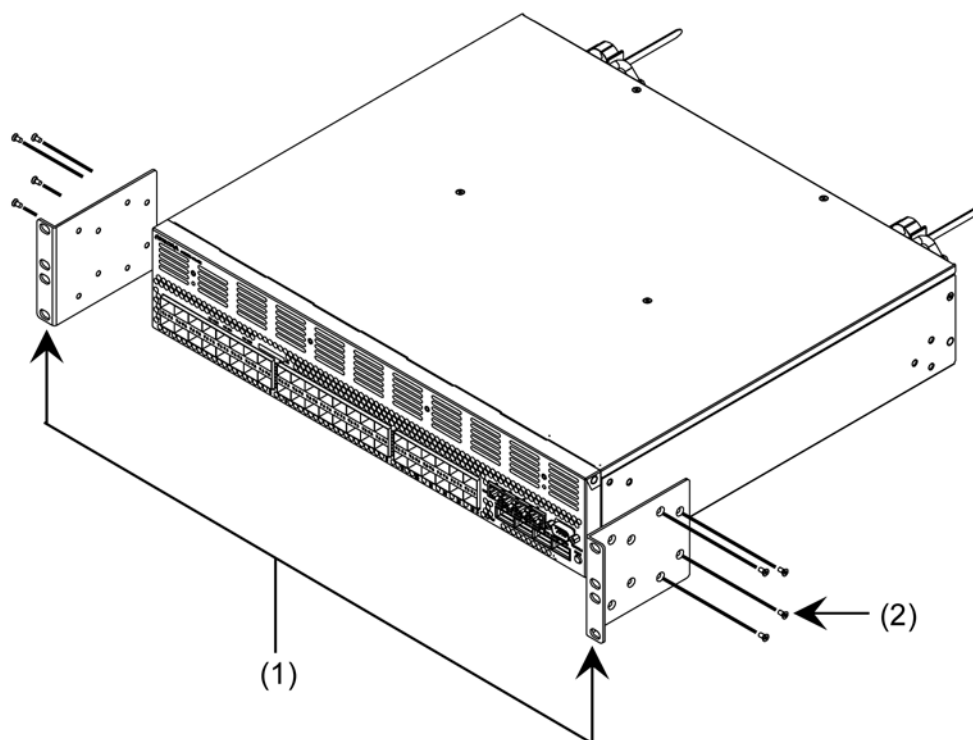
(1) ラック固定金具 (L/R 共通)

(2) ネジ (M4 × 6, 8 本)

NOTE

ラック搭載時、本装置の正面側にスペース（ケーブル引き出し用）が確保できない場合は、次図のようにラック固定金具を前面側に 50mm 突出させて取り付けてください。本装置の正面側に必要なスペース（ケーブル引き出し用）については、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」の「表 2-24 ラックの条件」を参照してください。

図 2-5 ラック固定金具の取り付け【50mm 奥に調整する場合】(IP8800/S3830-44X4QS)



(1) ラック固定金具 (L/R 共通)

(2) ネジ (M4 × 6, 8 本)

NOTE

ラック固定金具には 5 種類のものがあります。

- AC 電源モデルおよび DC 電源モデル用
- AC 電源 (PoE) モデル, 電源冗長モデル (IP8800/S3630, IP8800/S3640), および EPU 用, 本ラック固定金具には「24P/EPU」のラベル表示あり
- 電源冗長モデル (IP8800/S3650) 用
- 電源冗長モデル (IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW) 用
- 電源冗長モデル (IP8800/S3830-44X4QS) 用

装置に取り付ける場合は, 正しい組み合わせで使用してください。

2. 機器の設置

2. 装置本体をラックへ搭載します。

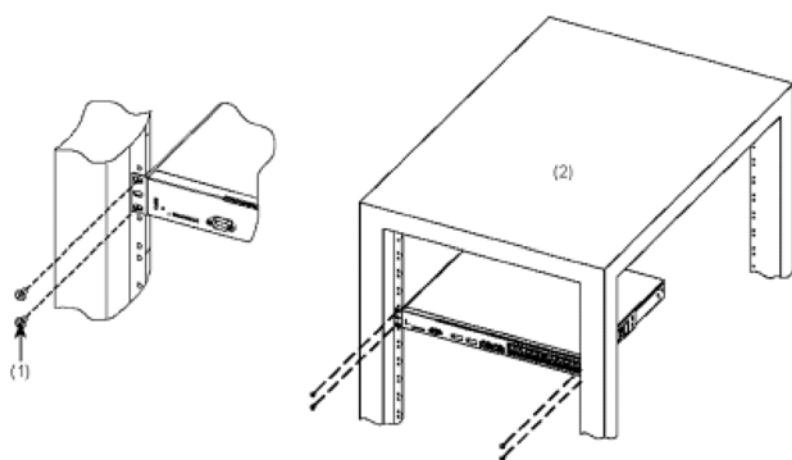
注意

装置をラックに搭載する場合は、装置が安定した状態にあるかを十分確認して作業してください。不安定な状態で作業した場合、落下や転倒によるけがの原因となります。

NOTE

装置をラックに取り付けるときには、ラックに付属している M5 のネジを使用してください。

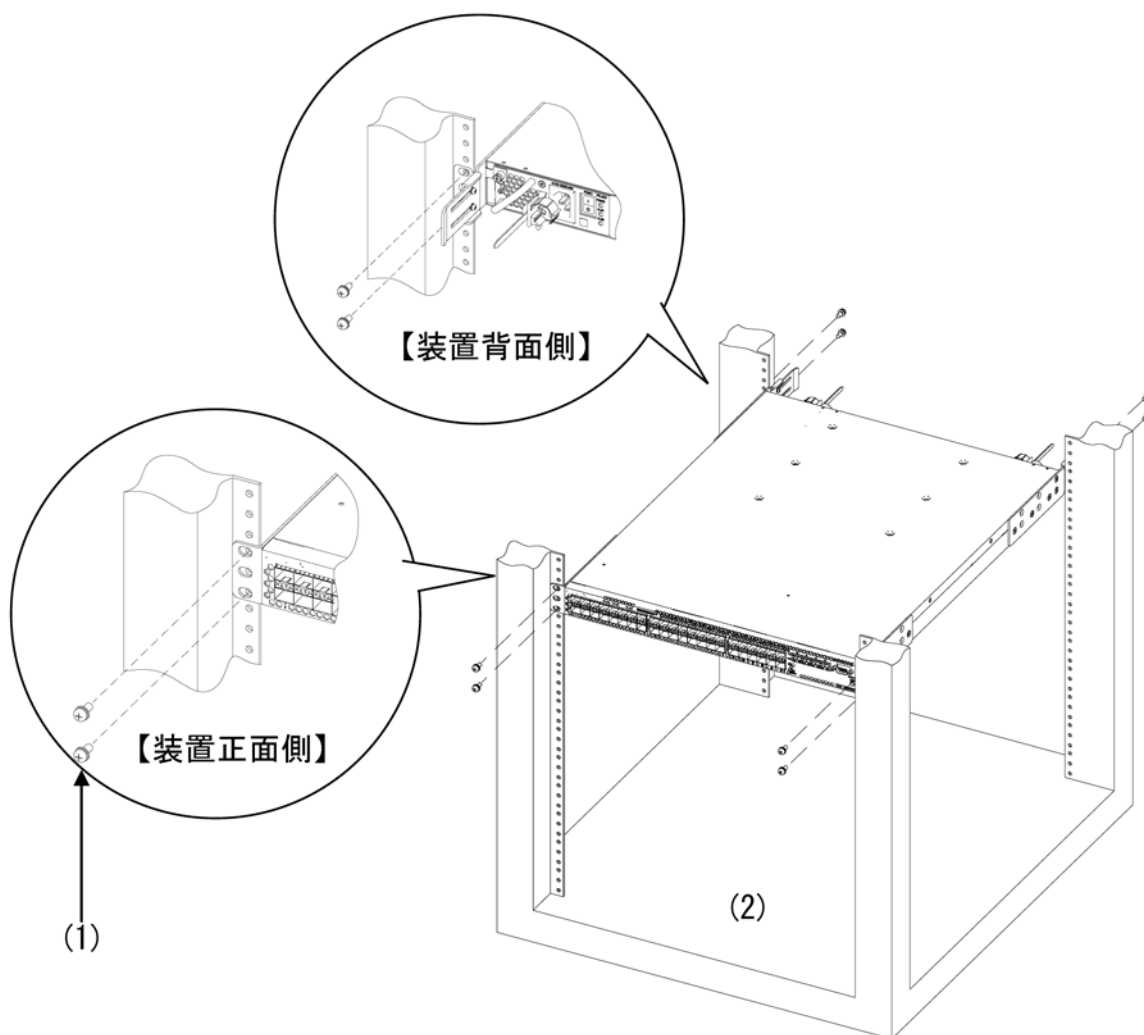
図 2-6 ラックへの搭載（IP8800/S2400 および IP8800/S3600）



(1) ネジ（M5、4本）

(2) 19型キャビネットラック

図 2-7 ラックへの搭載 (IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW)



(1) ネジ (M5, 8 本)

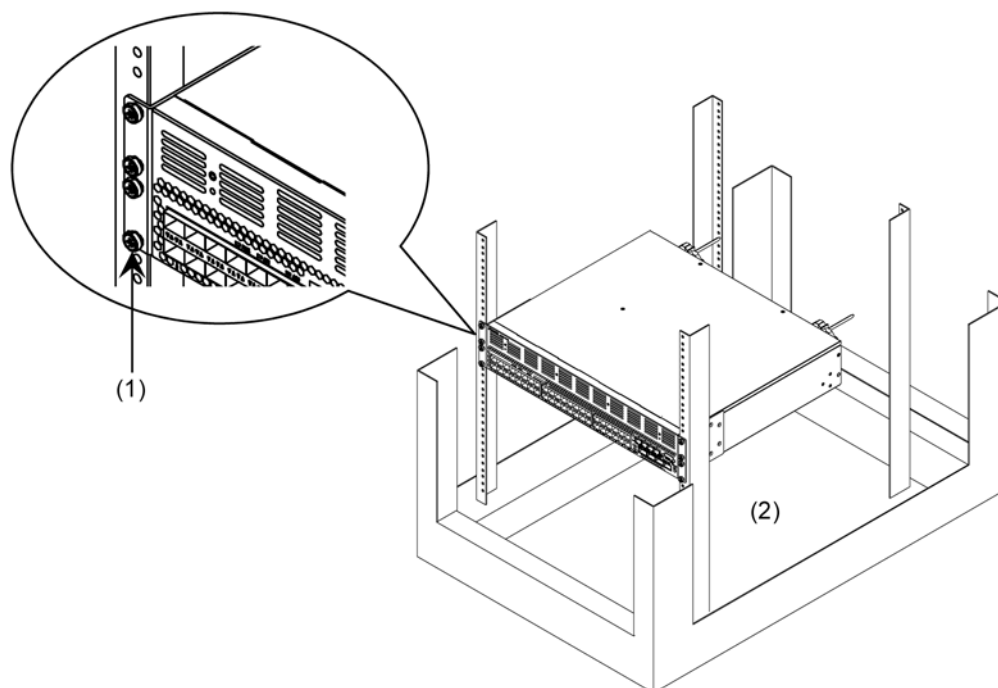
(2) 19 型キャビネットラック

NOTE

IP8800/S3830-44XWおよびIP8800/S3830-44X4QWは正面および背面の固定金具の取り付け位置を調整することで、ラック柱前後間隔は 620~655, 670~705, 720~755, 770~805, 820~855mm の範囲に対応可能です。

2. 機器の設置

図 2-8 ラックへの搭載 (IP8800/S3830-44X4QS)



(1) ネジ (M5, 8 本)

(2) 19 型キャビネットラック

【ステップ2】 装置本体への電源ケーブルの取り付け

装置本体に電源ケーブルを取り付けます。

AC 電源モデルおよび AC 電源（PoE）モデルおよび電源冗長モデル（AC 電源機構を搭載している場合）では AC 電源ケーブルを使用します。DC 電源モデルおよび電源冗長モデル（DC 電源機構を搭載している場合）では DC 電源ケーブルを使用します。

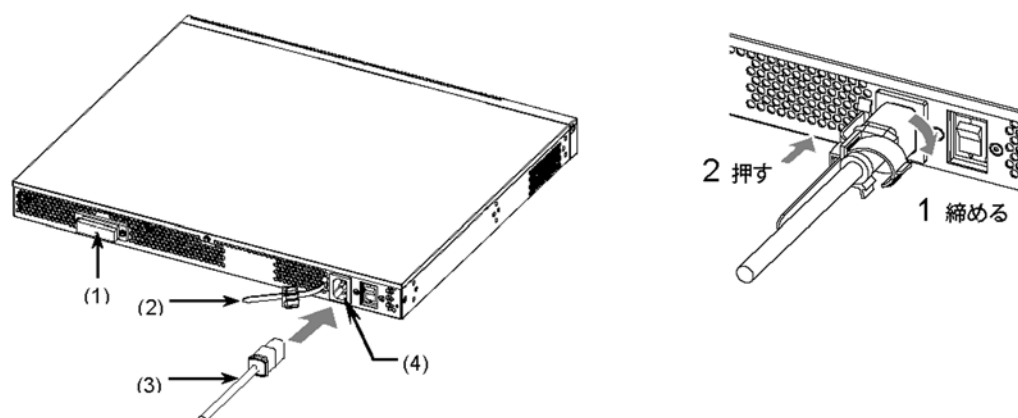
NOTE

ラックに搭載している場合は、ラック付属のケーブルホルダーで電源ケーブルを固定し、ケーブルの根元に負荷がかからないようにしてください。

● AC 電源ケーブル（AC 電源モデル、AC 電源（PoE）モデル）

装置背面の AC 電源コネクタに付属の電源ケーブルを取り付けます。

図 2-9 AC 電源ケーブルの取り付け（AC 電源モデル、AC 電源（PoE）モデル）



- (1) 予備電源給電コネクタ（保護キャップ付き）
- (2) ケーブルクランプ
- (3) AC 電源ケーブル
- (4) AC 電源コネクタ



警告

本装置を AC100V で使用する場合、電源ケーブルは付属のものまたは弊社の別売り品を使用してください。
それ以外のものを使用した場合、火災・感電の原因となります。
また、弊社の電源ケーブルを本装置以外で使用しないでください。
本装置以外で使用了場合、火災・感電の原因となります。



警告

AC 電源モデルを AC200V で使用する場合、電源ケーブルは弊社の別売り品または弊社が指定する仕様のものを使用してください。
それ以外のものを使用した場合、火災・感電の原因となります。
また、弊社の電源ケーブルを本装置以外で使用しないでください。
本装置以外で使用了場合、火災・感電の原因となります。



必ず接地付きのコンセントを使用してください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。



保護キャップはケーブルを取り付けるとき以外は取り外さないでください。保護キャップを取り外したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意

電源ケーブルの取り付け、取り外しは、本装置の電源スイッチを OFF にして行ってください。

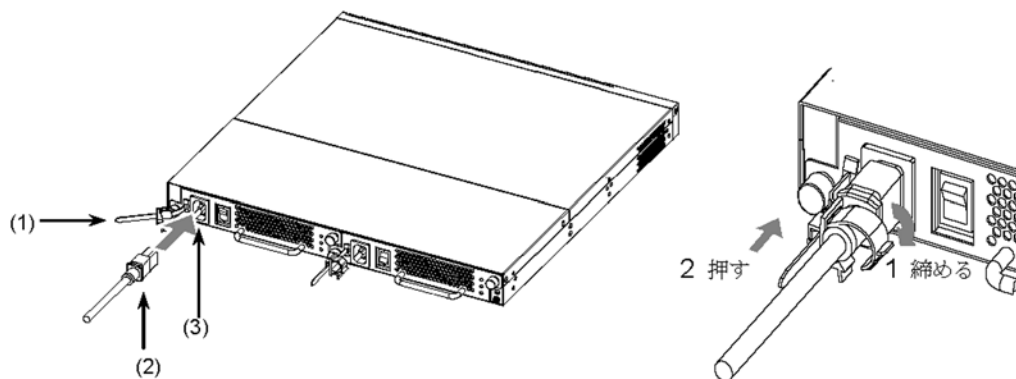
NOTE

弊社が指定する仕様の電源ケーブルについては、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

● AC 電源ケーブル（電源冗長モデル（IP8800/S3630, IP8800/S3640））

本装置のすべての電源機構に電源ケーブルを取り付けます。（装置背面の AC 電源コネクタに付属の電源ケーブルを取り付けます。）

図 2-10 AC 電源ケーブルの取り付け（電源冗長モデル（IP8800/S3630, IP8800/S3640））



- (1) ケーブルクランプ
(2) AC 電源ケーブル
(3) AC 電源コネクタ

警告

本装置を AC100V で使用する場合、電源ケーブルは付属のものまたは弊社の別売り品を使用してください。
それ以外のものを使用した場合、火災・感電の原因となります。
また、弊社の電源ケーブルを本装置以外で使用しないでください。
本装置以外で使用した場合、火災・感電の原因となります。

警告

電源冗長モデルを AC200V で使用する場合、電源ケーブルは弊社の別売り品または弊社が指定する仕様のものを使用してください。
それ以外のものを使用した場合、火災・感電の原因となります。
また、弊社の電源ケーブルを本装置以外で使用しないでください。
本装置以外で使用した場合、火災・感電の原因となります。

警告

必ず接地付きのコンセントを使用してください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。

注意

電源ケーブルの取り付け、取り外しを行う場合は、取り付け、取り外しを行う電源機構のスイッチを OFF にしてください。

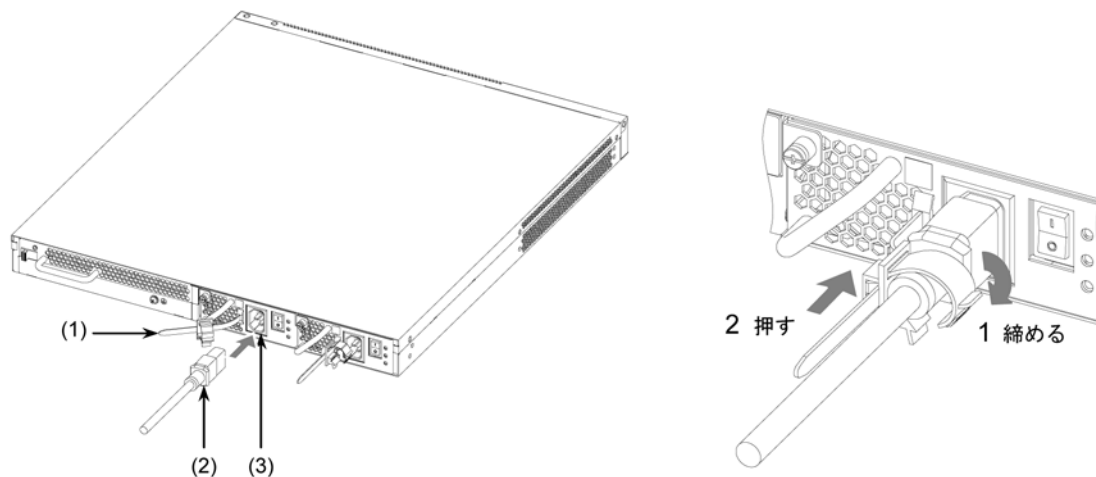
NOTE

弊社が指定する仕様の電源ケーブルについては、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

● AC 電源ケーブル（電源冗長モデル（IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW, IP8800/S3830-44X4QS, IP8800/S3650, ））

本装置のすべての電源機構に電源ケーブルを取り付けます。（装置背面の AC 電源コネクタに付属の電源ケーブルを取り付けます。）

図 2-11 AC 電源ケーブルの取り付け（電源冗長モデル（IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW, IP8800/S3830-44X4QS, IP8800/S3650））



- (1) ケーブルクランプ
(2) AC 電源ケーブル
(3) AC 電源コネクタ

警告

本装置を AC100V で使用する場合、電源ケーブルは付属のものまたは弊社の別売り品を使用してください。
それ以外のものを使用した場合、火災・感電の原因となります。
また、弊社の電源ケーブルを本装置以外で使用しないでください。
本装置以外で使用した場合、火災・感電の原因となります。

警告

電源冗長モデルを AC200V で使用する場合、電源ケーブルは弊社の別売り品または弊社が指定する仕様のものを使用してください。
それ以外のものを使用した場合、火災・感電の原因となります。
また、弊社の電源ケーブルを本装置以外で使用しないでください。
本装置以外で使用した場合、火災・感電の原因となります。

警告

必ず接地付きのコンセントを使用してください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。

注意

電源ケーブルの取り付け、取り外しを行う場合は、取り付け、取り外しを行う電源機構のスイッチを OFF にしてください。

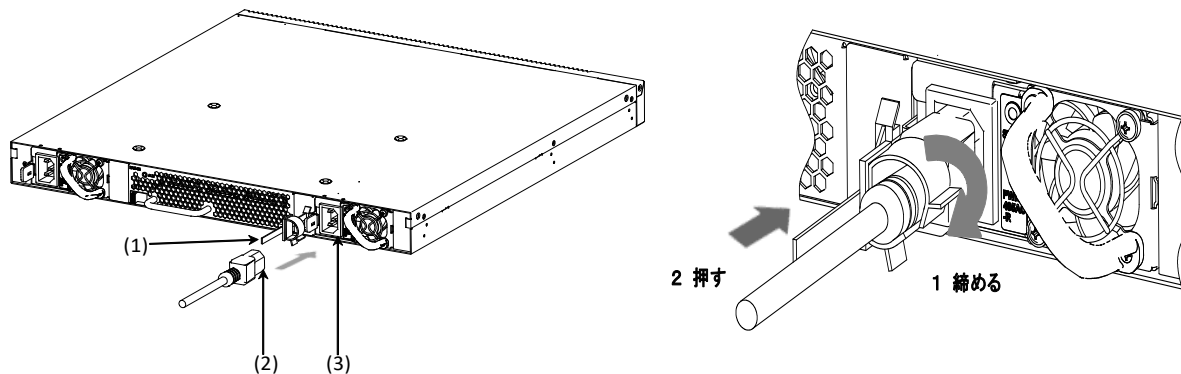
NOTE

弊社が指定する仕様の電源ケーブルについては、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

● AC 電源ケーブル（電源冗長モデル（IP8800/S3830-32X4QW））

本装置のすべての電源機構に電源ケーブルを取り付けます。（装置背面の AC 電源コネクタに付属の電源ケーブルを取り付けます。）

図 2-12 AC 電源ケーブルの取り付け（電源冗長モデル（IP8800/S3650, IP8800/S3830））



- (1) ケーブルクランプ
- (2) AC 電源ケーブル
- (3) AC 電源コネクタ

警告

本装置を AC100V で使用する場合、電源ケーブルは付属のものまたは弊社の別売り品を使用してください。
それ以外のものを使用した場合、火災・感電の原因となります。
また、弊社の電源ケーブルを本装置以外で使用しないでください。
本装置以外で使用した場合、火災・感電の原因となります。

警告

電源冗長モデルを AC200V で使用する場合、電源ケーブルは弊社の別売り品または弊社が指定する仕様のものを使用してください。
それ以外のものを使用した場合、火災・感電の原因となります。
また、弊社の電源ケーブルを本装置以外で使用しないでください。
本装置以外で使用した場合、火災・感電の原因となります。

警告

必ず接地付きのコンセントを使用してください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。

注意

IP8800/S3830-32X4QW には、電源スイッチがありません。AC 電源ケーブルの取り付けにより、装置の電源が投入されます。

NOTE

弊社が指定する仕様の電源ケーブルについては、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

● DC 電源ケーブル（DC 電源モデル）



DC 電源を使用する場合、電源設備は 1 次側と 2 次側が絶縁されたものを使用してください。絶縁されていない電源設備を使用すると、感電の原因となります。



DC 電源ケーブルは付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。
また、付属の電源ケーブルを本製品以外で使用しないでください。本製品以外で使用した場合、火災・感電の原因となります。



DC 電源ケーブルの電源設備への取り付け、取り外しは教育を受けた技術者または保守員が行ってください。DC 電源ケーブルは電源設備へ端子接続を行います。そのため、DC 電源ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。



DC 電源ケーブルの取り付け、取り外しを行う場合は、電源設備側の電源を切断して作業を行ってください。電源設備側の電源を投入したまま作業を行うと、火災・感電の原因となります。

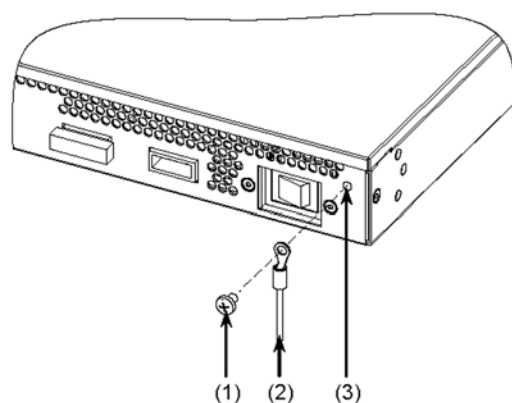
NOTE

DC 電源ケーブルは電源設備側の末端処理を施さない状態で提供されます。お客様の電源設備に合った端子を取り付けるなど、適切な末端処理を施して使用してください。
なお、DC 電源ケーブルの詳細については「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

2. 機器の設置

1. 装置本体に接地用ケーブルを取り付けます。

図 2-13 接地用ケーブルの取り付け



- (1) ネジ (M4 × 8)
- (2) 接地用ケーブル
- (3) 接地端子

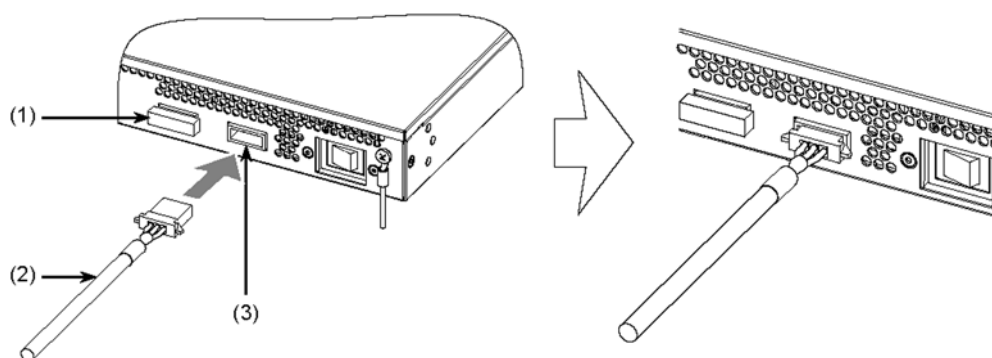


警告

必ず接地端子を接続して接地をしてください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。

2. 装置背面の DC 電源コネクタ 1 に付属の電源ケーブルを取り付けます（「カチッ」と音がするまでコネクタを挿入します）。

図 2-14 DC 電源ケーブルの取り付け



- (1) DC 電源コネクタ 2（保護キャップ付き）
- (2) DC 電源ケーブル
- (3) DC 電源コネクタ 1

警告

保護キャップはケーブルを取り付けるとき以外は取り外さないでください。保護キャップを取り外したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意

DC 電源ケーブルを接続するときは、極性を正しく接続してください。極性を間違えて接続すると、故障の原因となります。

NOTE

電源設備を 2 系統化するには、DC 電源ケーブル（別売り）が必要です。
電源設備を 2 系統化する場合は、DC 電源コネクタ 2 に取り付けられている保護キャップを取り外して DC 電源ケーブルを取り付けてください。
また、取り外した保護キャップは大切に保管しておいてください。

● DC 電源ケーブル（電源冗長モデル（IP8800/S3630, IP8800/S3640））



DC 電源を使用する場合、電源設備は 1 次側と 2 次側が絶縁されたものを使用してください。絶縁されていない電源設備を使用すると、感電の原因となります。



DC 電源ケーブルは弊社が指定する仕様のものを使用してください。それ以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。



DC 電源ケーブルの取り付け、取り外しは教育を受けた技術者または保守員が行ってください。
DC 電源ケーブルは端子接続を行います。そのため、DC 電源ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。



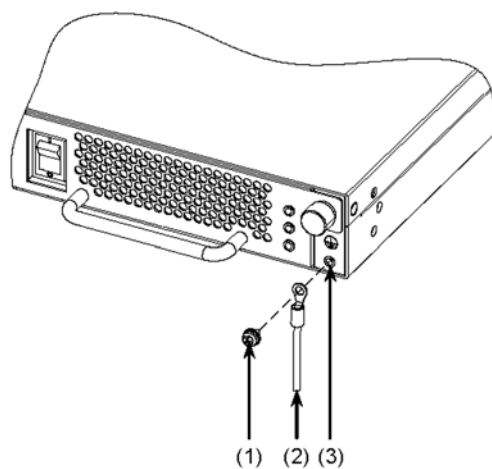
DC 電源ケーブルの取り付け、取り外しを行う場合は、電源設備側の電源を切断して作業を行ってください。電源設備側の電源を投入したまま作業を行うと、火災・感電の原因となります。

NOTE

弊社が指定する仕様の電源ケーブルについては、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

1. 装置本体に接地用ケーブルを取り付けます。

図 2-15 接地用ケーブルの取り付け



- (1) ネジ (M4 × 8)
- (2) 接地用ケーブル
- (3) 接地端子

**警告**

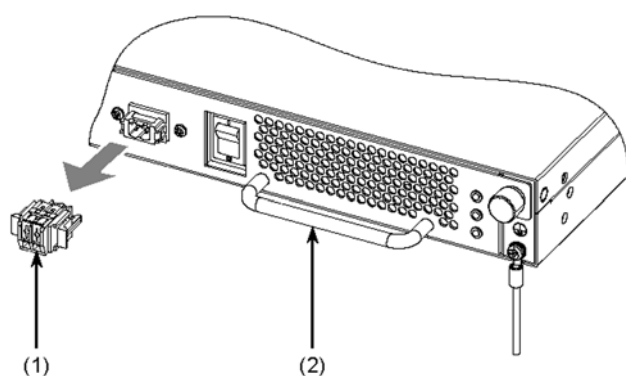
必ず接地端子を接続して接地をしてください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。

NOTE

接地用ケーブルは電源設備側の末端処理を施さない状態で提供されます。お客様の電源設備に合った端子を取り付けるなど、適切な末端処理を施して使用してください。
なお、接地用ケーブルの詳細については「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

2. 電源機構からケーブル用コネクタを取り外します（左右のレバーを押さえながら引き抜きます）。

図 2-16 ケーブル用コネクタの取り外し



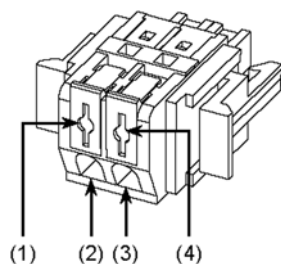
- (1) ケーブル用コネクタ
- (2) 電源機構

2. 機器の設置

3. ケーブル用コネクタに DC 電源ケーブルを取り付けます。

ドライバの先などで、ボタンを押します（奥まで押すと、その状態で保持されます）。

図 2-17 DC 電源ケーブルの取り付け -1



(1) ボタン（白）

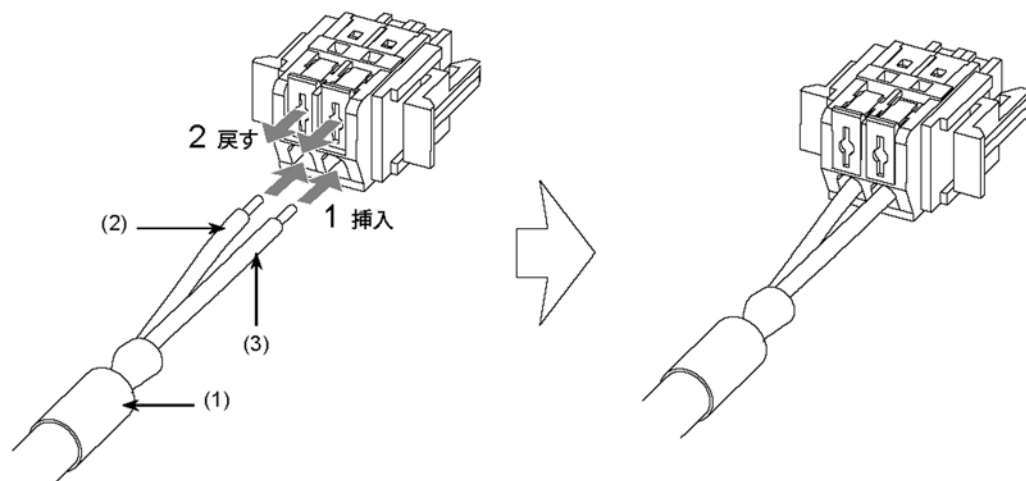
(2) -48V

(3) 0V

(4) ボタン（赤）

4. 電源ケーブルを挿入し、ボタンを元に戻します（電源ケーブルがクランプされます）。

図 2-18 DC 電源ケーブルの取り付け -2



(1) DC 電源ケーブル

(2) -48V

(3) 0V



警告

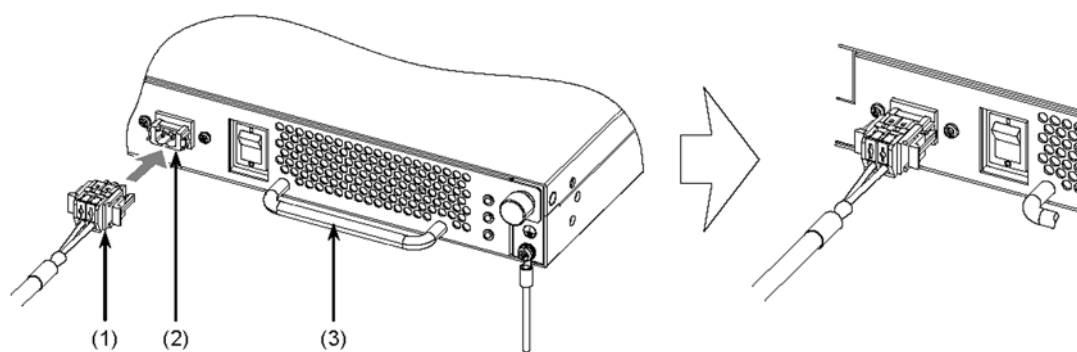
DC 電源ケーブルのシースのむき代（本装置側）は 8 ～ 10mm になるようにしてください。むき代が短すぎると接触不良となったり、ケーブルが抜けたりする原因となります。また、長すぎると芯線が露出して、感電の原因となります。

注意

DC 電源ケーブルを接続するときは、極性を正しく接続してください。極性を間違えて接続すると、故障の原因となります。

5. 電源機構にケーブル用コネクタを取り付けます（「カチッ」と音がするまで挿入します）。

図 2-19 ケーブル用コネクタの取り付け



- (1) ケーブル用コネクタ
(2) DC 電源コネクタ
(3) 電源機構

注意

ケーブル用コネクタの取り付け、取り外しを行う場合は、電源機構のスイッチを OFF にしてください。

NOTE

電源を冗長化する場合は、「2」～「5」の手順で、もう一方の電源機構に電源ケーブルを取り付けてください。

- DC 電源ケーブル（電源冗長モデル（IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW, IP8800/S3830-44X4QS, IP8800/S3650））



DC 電源を使用する場合、電源設備は 1 次側と 2 次側が絶縁されたものを使用してください。絶縁されていない電源設備を使用すると、感電の原因となります。



DC 電源ケーブルは弊社が指定する仕様のものを使用してください。それ以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。



DC 電源ケーブルの取り付け、取り外しは教育を受けた技術者または保守員が行ってください。
DC 電源ケーブルは端子接続を行います。そのため、DC 電源ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。



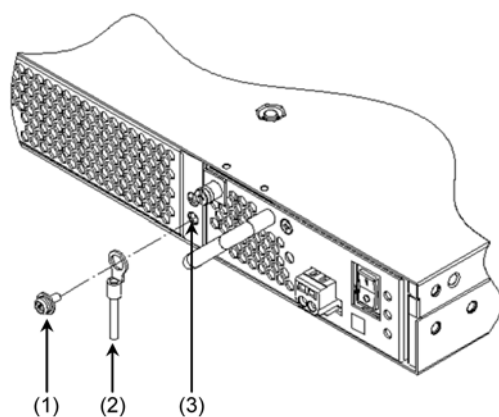
DC 電源ケーブルの取り付け、取り外しを行う場合は、電源設備側の電源を切断して作業を行ってください。
電源設備側の電源を投入したまま作業を行うと、火災・感電の原因となります。

NOTE

弊社が指定する仕様の電源ケーブルについては、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

1. 装置本体に接地用ケーブルを取り付けます。

図 2-20 接地用ケーブルの取り付け



(1) ネジ (M4 × 10)

(2) 接地用ケーブル

(3) 接地端子



警告

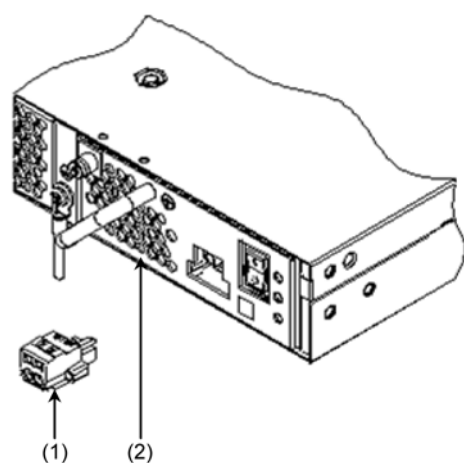
必ず接地端子を接続して接地をしてください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。

NOTE

接地用ケーブルは電源設備側の末端処理を施さない状態で提供されます。お客様の電源設備に合った端子を取り付けるなど、適切な末端処理を施して使用してください。
なお、接地用ケーブルの詳細については「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

2. 電源機構からケーブル用コネクタを取り外します（左右のネジをドライバで緩めて引き抜きます）。

図 2-21 ケーブル用コネクタの取り外し



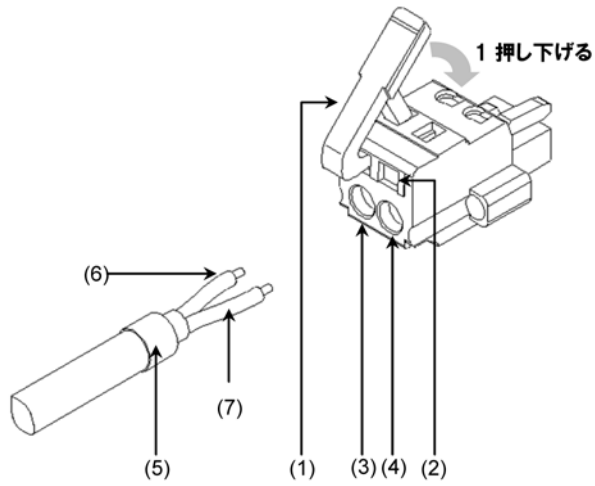
(1) ケーブル用コネクタ

(2) 電源機構

2. 機器の設置

3. ケーブル用コネクタに DC 電源ケーブルを取り付けます。操作用スロットに操作レバーを取り付けて、操作レバーを押し下げます。

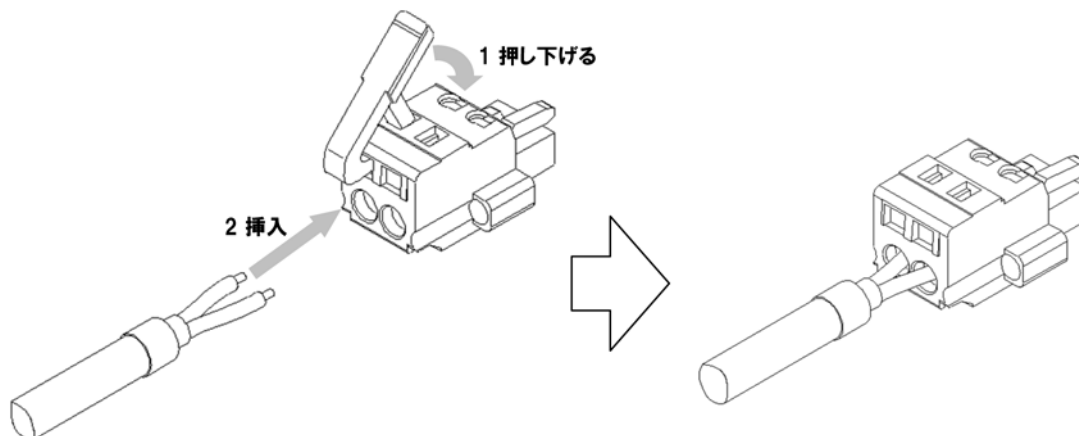
図 2-22 DC 電源ケーブルの取り付け -1



- (1) 操作レバー
- (2) 操作用スロット
- (3) 電線差し込み口 (-48V)
- (4) 電線差し込み口 (0V)
- (5) DC 電源ケーブル
- (6) -48V
- (7) 0V

4. 操作レバーを押したまま、電源差し込み口に電源ケーブルを差し込みます。操作レバーを放すと、電源ケーブルがクランプされます。電源ケーブルがコネクタに固定されたら、操作レバーを取り外します。

図 2-23 DC 電源ケーブルの取り付け -2



⚠ 警告

DC 電源ケーブルのシースのむき代（本装置側）は 8 ～ 9mm になるようにしてください。むき代が短すぎると接触不良となったり、ケーブルが抜けたりする原因となります。また、長すぎると芯線が露出して、感電の原因となります。

注意

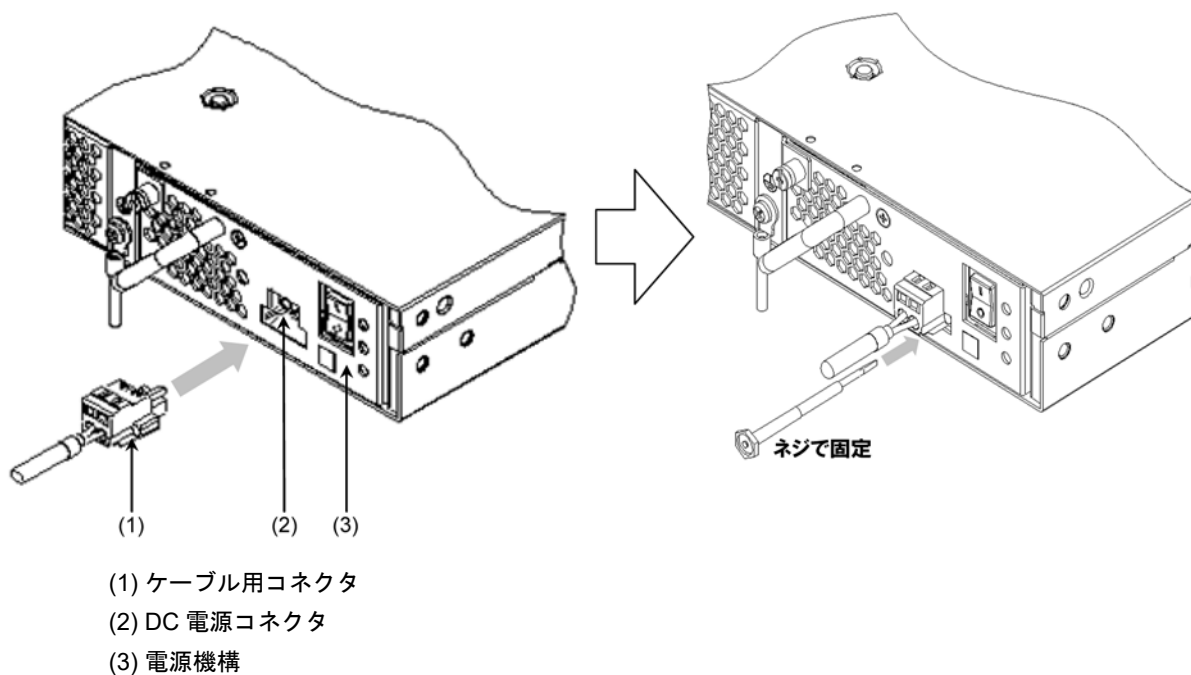
DC 電源ケーブルを接続するときは、極性を正しく接続してください。極性を間違えて接続すると、故障の原因となります。

NOTE

取り外した操作用レバーは、大切に保管しておいてください。

5. 電源機構にケーブル用コネクタを取り付けてネジで固定します。

図 2-24 ケーブル用コネクタの取り付け



注意

ケーブル用コネクタの取り付け、取り外しを行う場合は、電源機構のスイッチを OFF にしてください。

NOTE

電源を冗長化する場合は、「2」～「5」の手順で、もう一方の電源機構に電源ケーブルを取り付けてください。

● DC 電源ケーブル（電源冗長モデル（IP8800/S3830-32X4QW））



DC 電源を使用する場合、電源設備は 1 次側と 2 次側が絶縁されたものを使用してください。絶縁されていない電源設備を使用すると、感電の原因となります。



DC 電源ケーブルは弊社が指定する仕様のものを使用してください。それ以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。



DC 電源ケーブルの取り付け、取り外しは教育を受けた技術者または保守員が行ってください。
DC 電源ケーブルは端子接続を行います。そのため、DC 電源ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。



DC 電源ケーブルの取り付け、取り外しを行う場合は、電源設備側の電源を切断して作業を行ってください。
電源設備側の電源を投入したまま作業を行うと、火災・感電の原因となります。

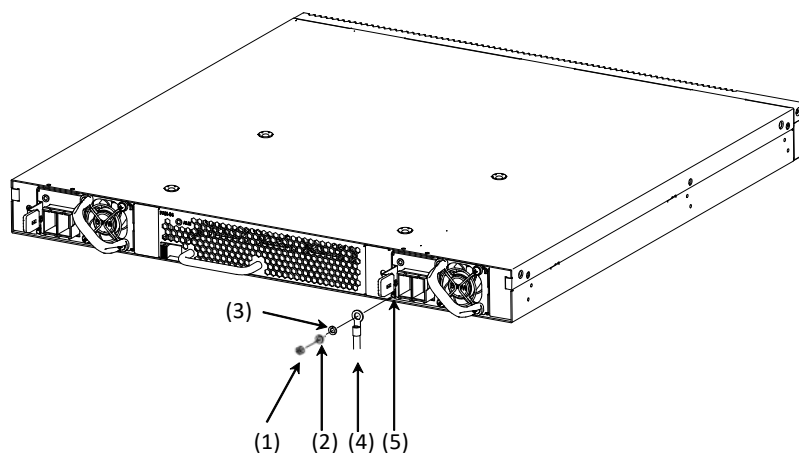
NOTE

弊社が指定する仕様の電源ケーブルについては、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

2. 機器の設置

1. 電源機構の接地端子に取り付けてある、ナット、ワッシャー、歯付（菊）座金を取り外して、図 2-25 の順で電源機構本体に接地用ケーブルを取り付けます。

図 2-25 接地用ケーブルの取り付け



- (1) ナット（#6-32，平径寸法＝6.35mm）
- (2) ワッシャー
- (3) 歯付（菊）座金
- (4) 接地用ケーブル
- (5) 接地端子



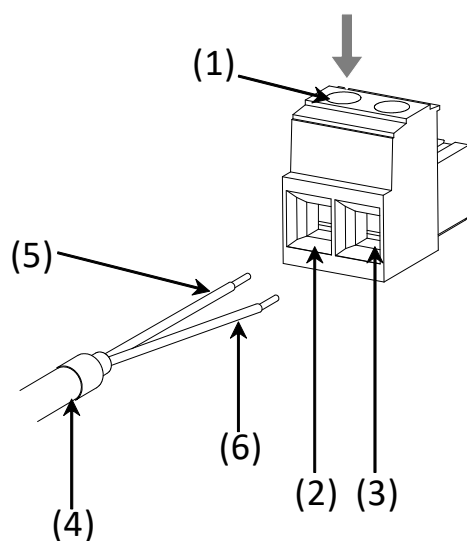
必ず接地端子を接続して接地をしてください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。

NOTE

接地用ケーブルは電源設備側の末端処理を施さない状態で提供されます。お客様の電源設備に合った端子を取り付けるなど、適切な末端処理を施して使用してください。
なお、接地用ケーブルの詳細については「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

2. DC 電源コネクタのネジを緩めます。ケーブル固定用ネジ穴にドライバーを差し込み、ネジを緩めます。

図 2-26 電源ケーブルの取り付け -1

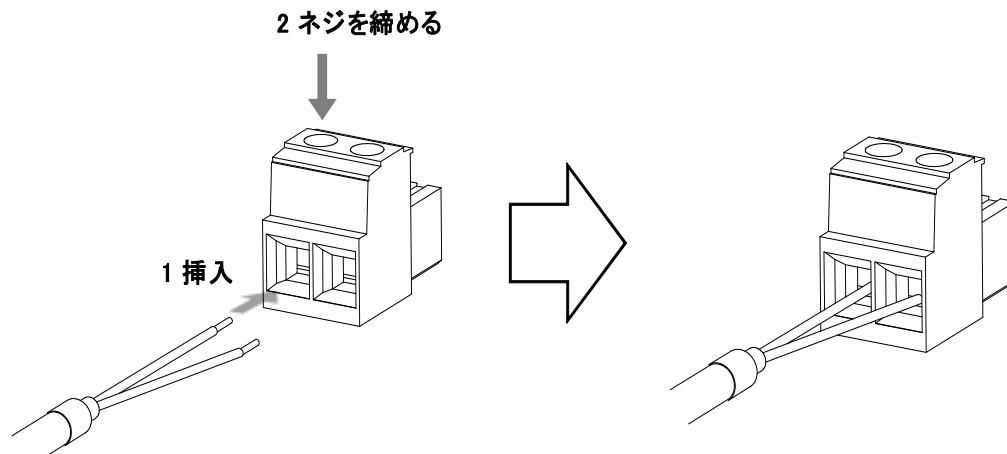


- (1) ケーブル固定ネジ穴
- (2) 電線差し込み口 (0V)
- (3) 電線差し込み口 (-48V)
- (4) DC 電源ケーブル
- (5) 0V
- (6) -48V

2. 機器の設置

3. 電源差し込み口に電源ケーブルを差し込んでから、ケーブル固定ネジ穴にドライバーを差し込み、ネジを締めます。

図 2-27 電源ケーブルの取り付け -2



⚠ 警告

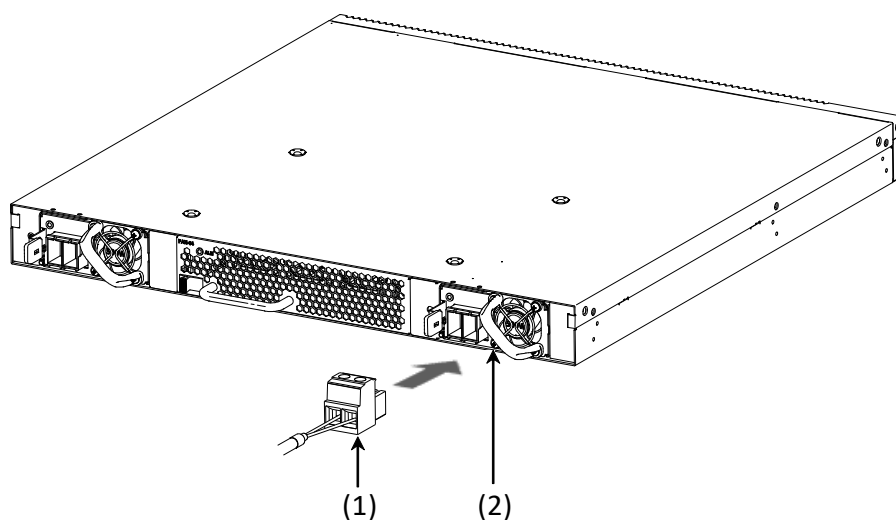
DC 電源ケーブルのシースのむき代（本装置側）は 8 ～ 9mm になるようにしてください。
むき代が短すぎると接触不良となったり、ケーブルが抜けたりする原因となります。
また、長すぎると芯線が露出して、感電の原因となります。

注意

DC 電源ケーブルを接続するときは、極性を正しく接続してください。極性を間違えて接続すると、故障の原因となります。

4. 電源機構に DC 電源コネクタを取り付けます。

図 2-28 DC 電源コネクタの取り付け



- (1) DC 電源コネクタ
(2) 電源機構

注意

IP8800/S3830-32X4QW には、電源スイッチがありません。電源設備側の電源投入により、装置の電源が投入されます。

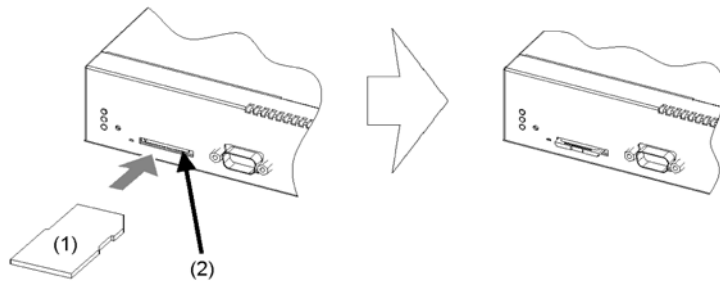
NOTE

電源を冗長化する場合は、「2」～「4」の手順で、もう一方の電源機構に電源ケーブルを取り付けてください。

【ステップ3】 ダミーメモ리카ードの取り付け

「カチッ」と音がするまでダミーメモ리카ード（以下ダミーカード）を挿入し、ゆっくり指を離します。（ダミーカードの角がとれて斜めになった部分を右側にして取り付けてください。）

図 2-29 ダミーカードの取り付け



(1) ダミーカード

(2) メモ리카ードスロット

注意

ダミーカードを取り付ける場合は、ダミーカードを強く押したり、指ではじいたりしないでください。メモ리카ードスロットのコネクタ部を破損するおそれがあります。

NOTE

メモ리카ードスロットにほこりが付着しているときは、乾いた布などでほこりを除去してから取り付けてください。

NOTE

ダミーカードには、外観上 2 つのタイプがありますが、取り付け方法の違いはありません。なお、ダミーカードの詳細については「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

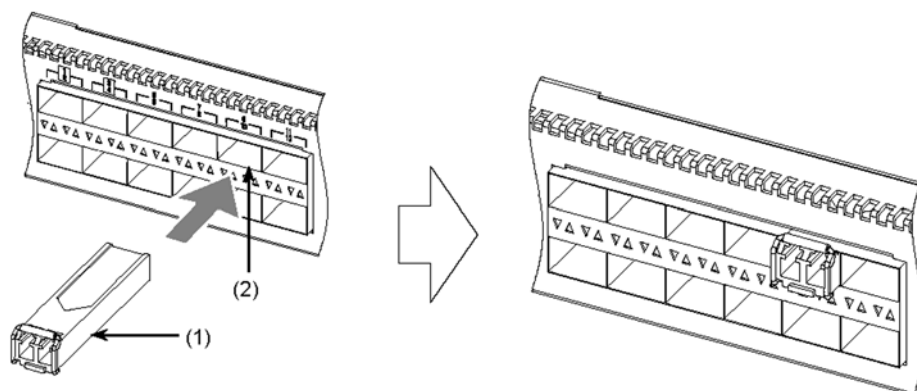
【ステップ4】 トランシーバの取り付け

**注意**

レーザー光を使用しています（レーザー光は無色透明で目には見えません）。光送受信部を直接のぞいたり、光学機器を通してのぞいたりしないでください。

トランシーバをご購入いただいている場合はトランシーバを取り付けます。
レバーを図のように起こしたまま、「カチッ」と音がするまでトランシーバを挿入します。

図 2-30 トランシーバの取り付け（上側のポート）



(1) SFP

(2) SFP スロット

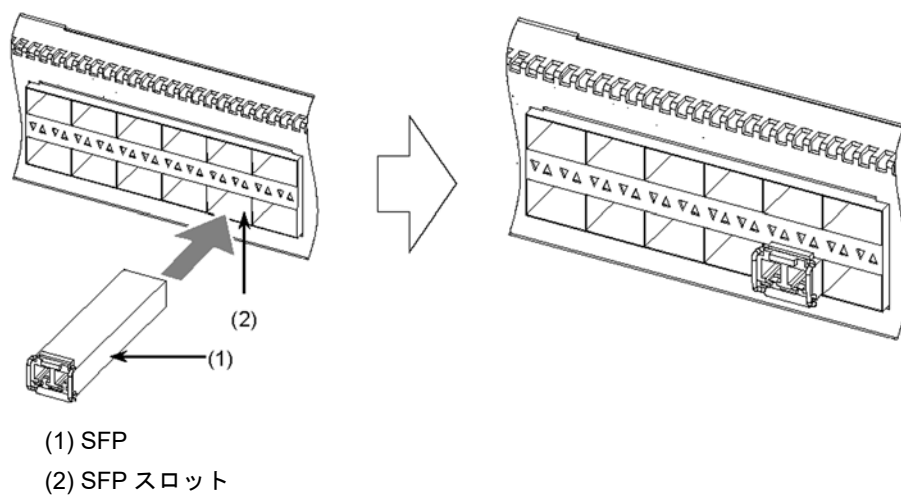
NOTE

上図は SFP スロットが 2 段になっているモデルの上側の SFP スロットに取り付ける場合の例です。1 段のモデルの場合も、SFP の向きを上図のようにして取り付けてください。ただし、SFP スロットが 2 段になっているモデルの下側の SFP スロットに取り付ける場合は、次図のように、SFP の向きを上下逆にして取り付けてください。

NOTE

SFP+ の場合は SFP+ スロット、XFP の場合は XFP スロット、QSFP+ の場合は QSFP+ スロットに同様に取り付けてください。

図 2-31 トランシーバの取り付け（下側のポート）

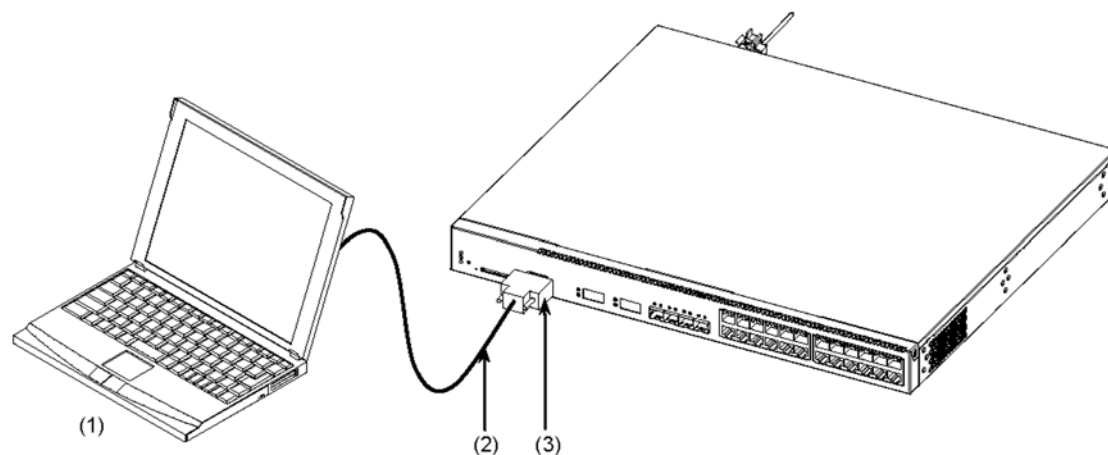


【ステップ5】 セットアップ端末の接続

本装置にセットアップ端末を接続します。

1. 本装置の CONSOLE ポートにセットアップ端末を接続します。セットアップ端末を接続するには、RS-232C クロスケーブルを使用します。

図 2-32 セットアップ端末の接続



- (1) セットアップ端末
(2) RS-232C クロスケーブル
(3) CONSOLE ポート

NOTE

接続後はネジを締めてください。また、しっかり固定されていることを確認してください。

NOTE

RS-232C クロスケーブルの詳細については、「1.4 必要なものの準備」を参照してください。

2. セットアップ端末を起動します。
3. 通信ソフトを起動します。
4. 通信ソフトの設定を行います。

NOTE

通信パラメータについては、「1.4 必要なものの準備」を参照してください。また、通信ソフトの設定方法については、通信ソフトのマニュアルを参照してください。

【ステップ6】 インタフェースケーブルの取り付け

インタフェースポートにインタフェースケーブルを取り付けます。

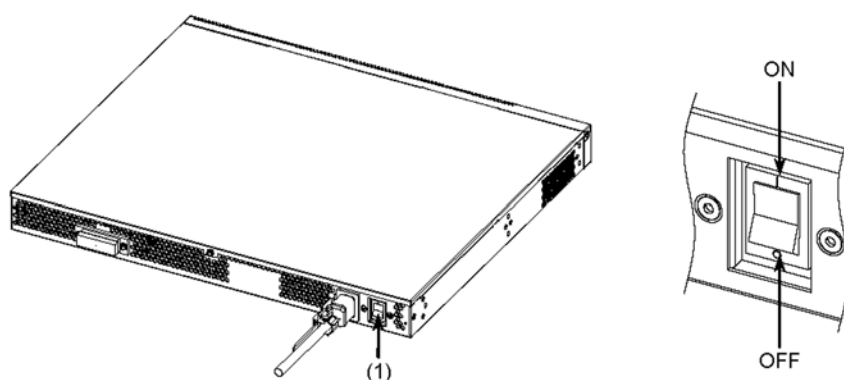
NOTE

PoE 接続する場合、UTP ケーブルを取り付けてから 2 秒以内に取り外し、取り付けを行うと、受電側の機器の電力クラスを正しく認識できないことがあります。
取り外して再度取り付けを行う場合は、2 秒以上間隔を空けて取り付け直してください。

【ステップ7】 装置本体の電源の投入

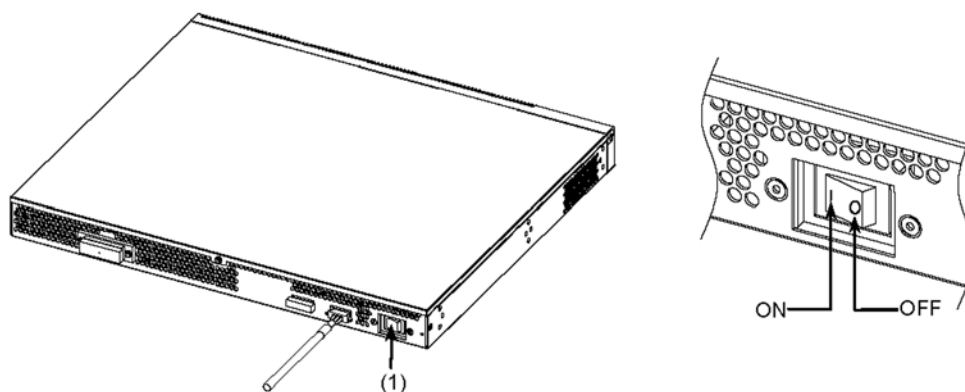
装置本体の電源スイッチを ON にします。

図 2-33 電源の投入（AC 電源モデル、AC 電源（PoE）モデル）



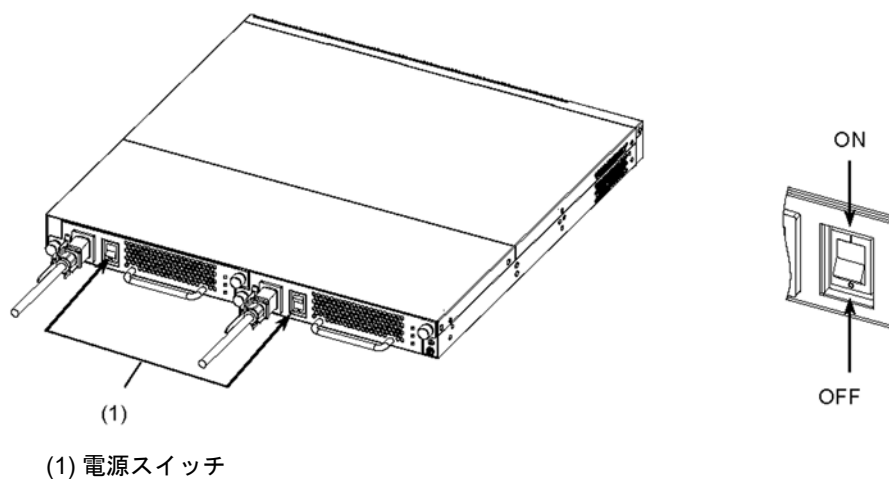
(1) 電源スイッチ

図 2-34 電源の投入（DC 電源モデル）



(1) 電源スイッチ

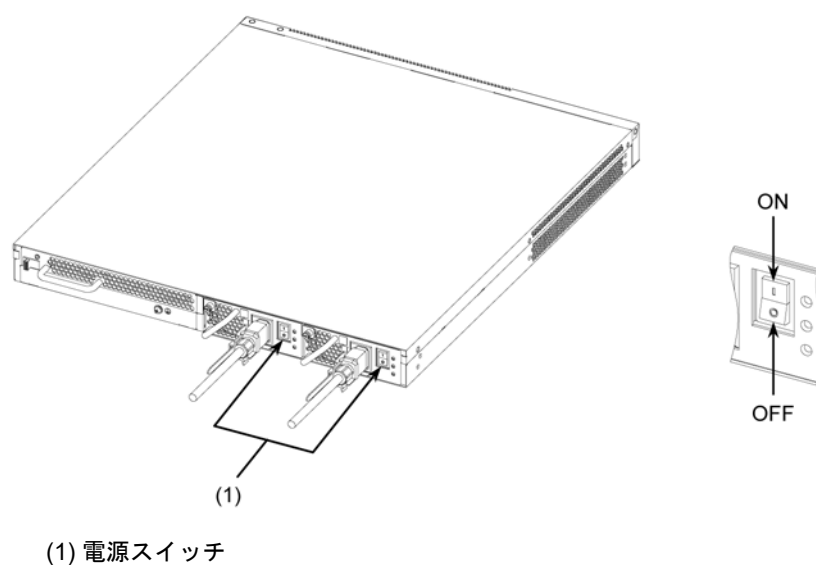
図 2-35 電源の投入（電源冗長モデル（IP8800/S3630, IP8800/S3640））



NOTE

電源冗長モデルで電源を冗長化している場合、どちらか一方の電源スイッチしか ON になっていないと、電源の異常を検出（ST1 LED が赤点滅）することがあります。
すべての電源スイッチを ON にすると電源の異常が回復します。

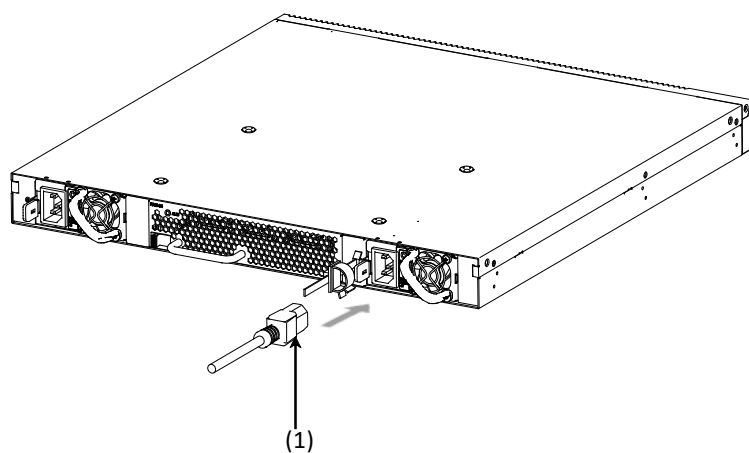
図 2-36 電源の投入（電源冗長モデル（IP8800/S3650, IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW, IP8800/S3830-44X4QS））



NOTE

電源冗長モデルで電源を冗長化している場合、どちらか一方の電源スイッチしか ON になっていないと、電源の異常を検出（ST1 LED が赤点滅）することがあります。
すべての電源スイッチを ON にすると電源の異常が回復します。

図 2-37 電源の投入（電源冗長モデル（IP8800/S3830-32X4QW））



(1) 電源ケーブル

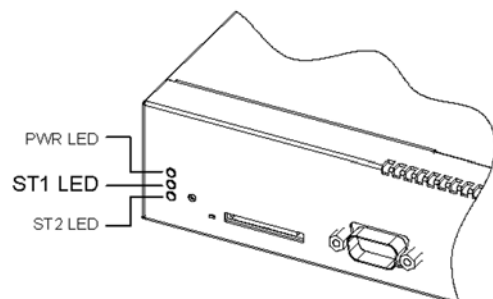
NOTE

電源冗長モデルで電源を冗長化している場合、どちらか一方の電源ケーブルしか取り付け
いないと、電源の異常を検出（ST1 LED が赤点滅）することがあります。
すべての電源ケーブルを取り付けると電源の異常が回復します。

【ステップ8】 LEDの確認

装置正面パネルの ST1 LED が緑点灯すると、装置が立ち上がったことを表わします。なお、装置が立ち上がるまでの経過については、「2.2 その他の作業」を参照してください。

図 2-38 LED の確認

**NOTE**

装置が立ち上がるまでの経過については、「2.2 その他の作業」を参照してください。

NOTE

ST1 LED が赤点滅または赤点灯した場合、装置に障害が発生しています。装置に障害が発生した場合は、「IP8800/S6700・IP8800/S6600・IP8800/S6300・IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 トラブルシューティングガイド」を参照して対処してください。

2.1.2 予備電源機構（EPU）を使用する場合

【ステップ1】 装置本体の設置

装置本体を 19 型キャビネットラックに搭載します。

NOTE

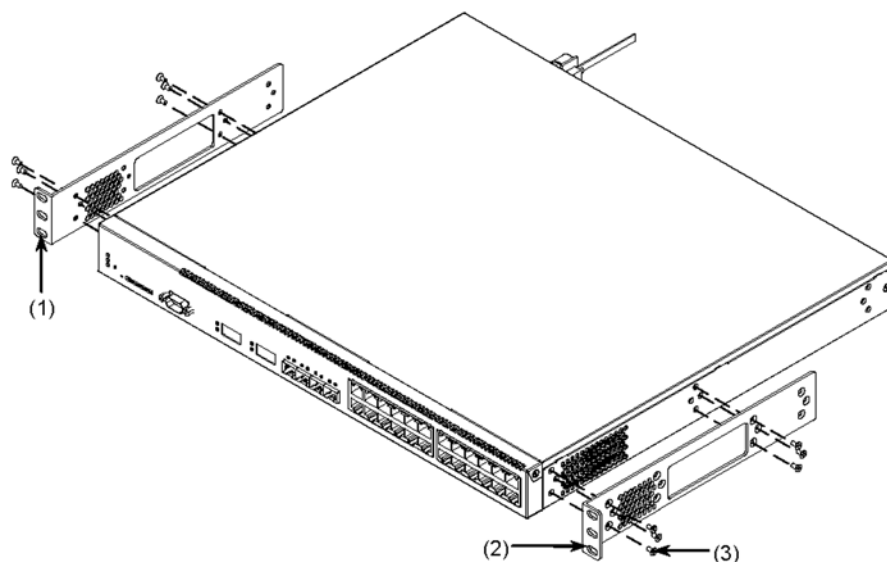
卓上に設置する場合は、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

NOTE

付属のラック固定金具は M5 のネジに対応しています。M5 のネジに対応したラックを準備してください。

1. 装置本体にラック固定金具を取り付けます。

図 2-39 装置本体へのラック固定金具の取り付け

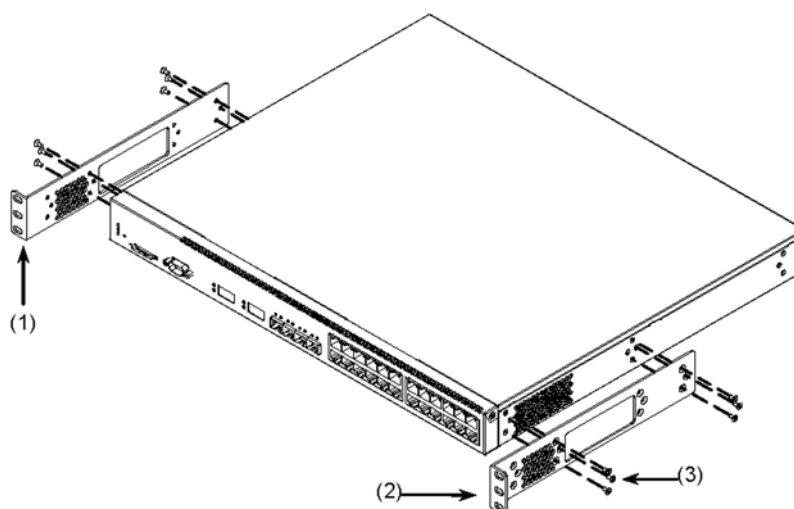


- (1) ラック固定金具 (L)
- (2) ラック固定金具 (R)
- (3) ネジ (M3 × 6, 12 本)

NOTE

ラック搭載時、本装置の正面側にスペース（ケーブル引き出し用）が確保できない場合は、次図のようにラック固定金具を前面側に 50mm 突出させて取り付けてください。本装置の正面側に必要なスペース（ケーブル引き出し用）については、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

図 2-40 装置本体へのラック固定金具の取り付け（50mm 奥に調整する場合）



- (1) ラック固定金具 (L)
 (2) ラック固定金具 (R)
 (3) ネジ (M3 × 6, 12 本)

NOTE

ラック固定金具を装置に取り付けるときには、付属のネジを使用してください。

NOTE

ラック固定金具には 5 種類のものがあります。

- AC 電源モデルおよび DC 電源モデル用
- AC 電源 (PoE) モデル, 電源冗長モデル (IP8800/S3630, IP8800/S3640), および EPU 用, 本ラック固定金具には「24P/EPU」のラベル表示あり
- 電源冗長モデル (IP8800/S3650) 用
- 電源冗長モデル (IP8800/S3830-44XW, IP8800/S3830-44X4QW) 用
- 電源冗長モデル (IP8800/S3830-44X4QS) 用

装置に取り付ける場合は、正しい組み合わせで使用してください。

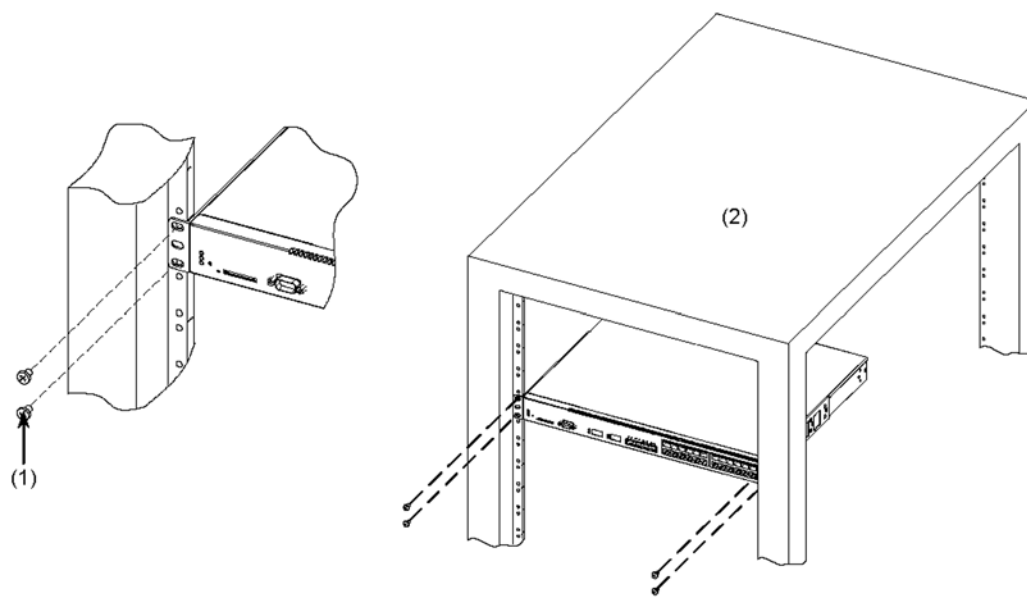
NOTE

ラック固定金具には (L) と (R) があります。ラック固定金具 (L) には金具側面に「L」の刻印が、ラック固定金具 (R) には「R」の刻印があります。

2. 機器の設置

2. 装置本体をラックへ搭載します。

図 2-41 装置本体のラック搭載



(1) ネジ (M5, 4 本)

(2) 19 型キャビネットラック

⚠ 注意

装置をラックに搭載する場合は、装置が安定した状態にあるかを十分確認して作業してください。不安定な状態で作業した場合、落下や転倒によるけがの原因となります。

NOTE

装置をラックに取り付けるときには、ラックに付属している M5 のネジを使用してください。

【ステップ2】 予備電源機構（EPU）の設置と電源モジュールの取り付け

予備電源機構（EPU）を 19 型キャビネットラックに搭載します。1 台の EPU から複数の装置に予備電源を給電する場合、EPU に電源モジュールを取り付けます。



注意

予備電源機構（EPU）を移動させる場合は、電源モジュールの取っ手を持たないでください。取っ手が外れて装置が落下し、けがの原因となることがあります。また、変形して、火災・感電の原因となることがあります。

NOTE

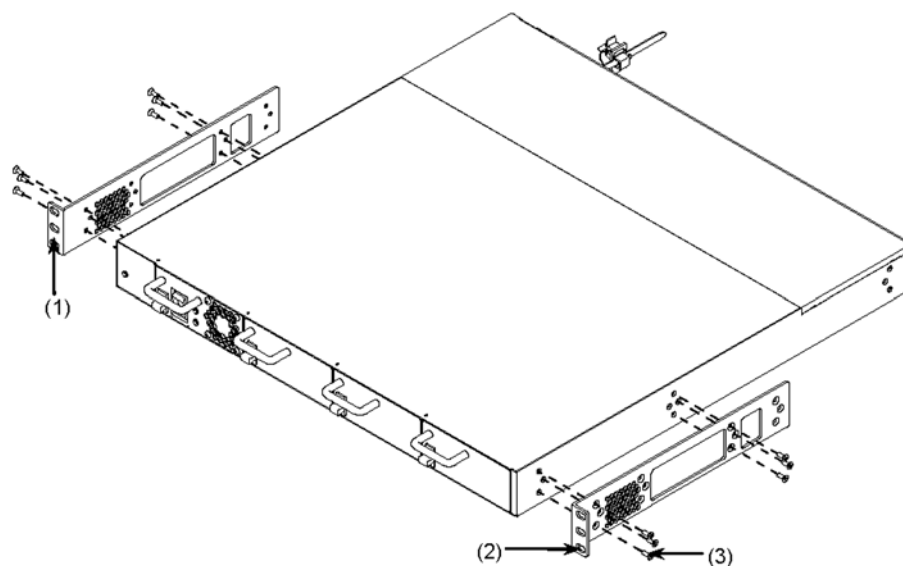
卓上に設置する場合は、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

NOTE

付属のラック固定金具は M5 のネジに対応しています。M5 のネジに対応したラックを準備してください。

1. EPU にラック固定金具を取り付けます。

図 2-42 予備電源機構へのラック固定金具の取り付け

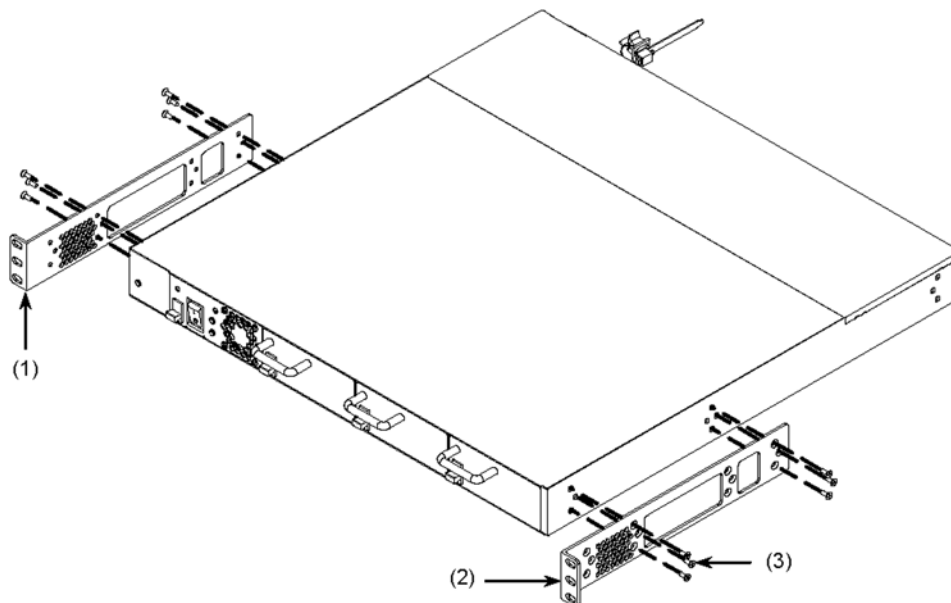


- (1) ラック固定金具（L）
- (2) ラック固定金具（R）
- (3) ネジ（M3 × 6, 12 本）

NOTE

ラック搭載時、本装置の正面側に 100mm のスペース（ケーブル引き出し用）が確保できない場合は、次図のようにラック搭載金具を前面側に 50mm 突出させて取り付けてください。

図 2-43 予備電源機構へのラック固定金具の取り付け（50mm 奥に調整する場合）



- (1) ラック固定金具 (L)
- (2) ラック固定金具 (R)
- (3) ネジ (M3 × 6, 12 本)

NOTE

ラック固定金具を装置に取り付けるときには、付属のネジを使用してください。

NOTE

- ラック固定金具には 2 種類のものがあります。
- AC 電源モデルおよび DC 電源モデル用
 - AC 電源 (PoE) モデル, 電源冗長モデルおよび EPU 用

AC 電源 (PoE) モデル, 電源冗長モデルおよび EPU 用のものには, 「24P/EPU」と記載されたラベルがあります。

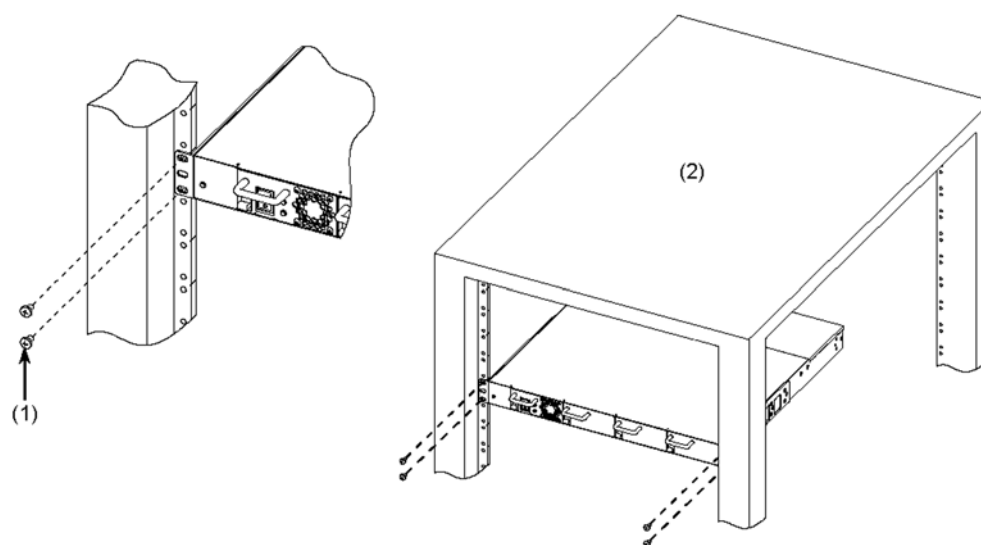
装置に取り付ける場合は, 正しい組み合わせで使用してください。

NOTE

ラック固定金具には (L) と (R) があります。ラック固定金具 (L) には金具側面に「L」の刻印が, ラック固定金具 (R) には「R」の刻印があります。

2. EPU をラックへ搭載します。

図 2-44 EPU のラック搭載



(1) ネジ (M5, 4 本)

(2) 19 型キャビネットラック

⚠ 注意

装置をラックに搭載する場合は、装置が安定した状態にあるかを十分確認して作業してください。不安定な状態で作業した場合、落下や転倒によるけがの原因となります。

NOTE

装置をラックに取り付けるときには、ラックに付属している M5 のネジを使用してください。

3. EPU に電源モジュールを取り付けます（「カチッ」と音がするまで挿入します）。

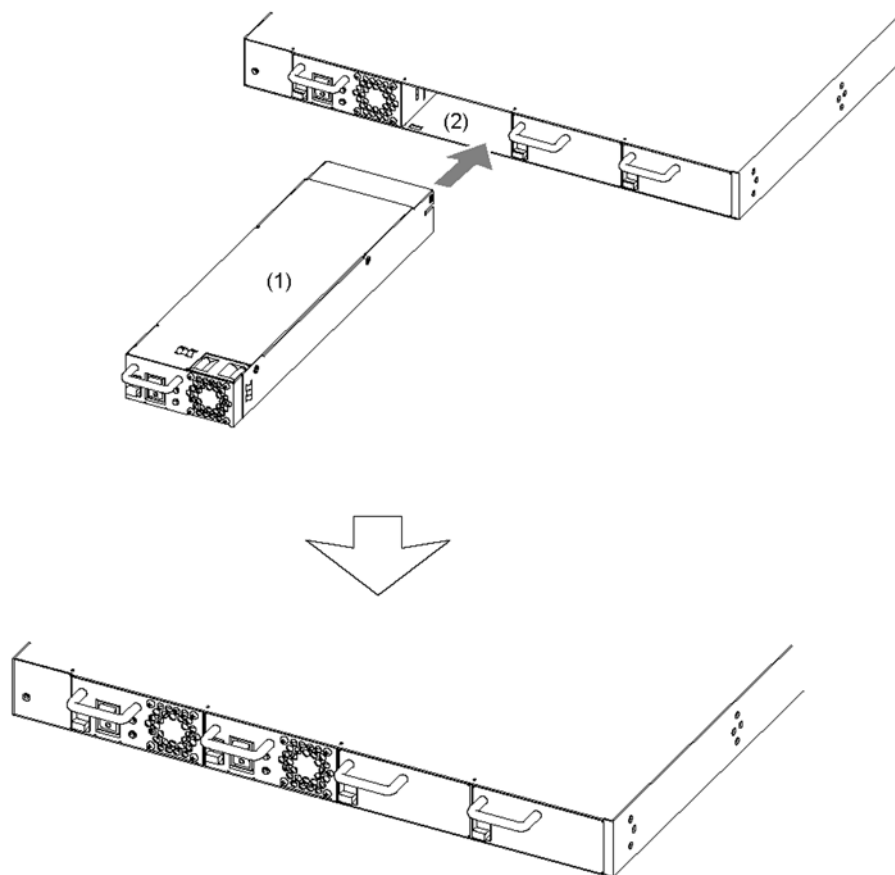
注意

電源モジュールの取り付け、取り外しは、電源モジュールの電源スイッチを OFF にして行ってください。

NOTE

以下は予備電源機構 EPU-A のスロット 2 に電源モジュールの取り付け、取り外しを行う場合の例です。EPU-A の他のスロット、および EPU-B の場合も同様に作業を行ってください。

図 2-45 電源モジュールの取り付け



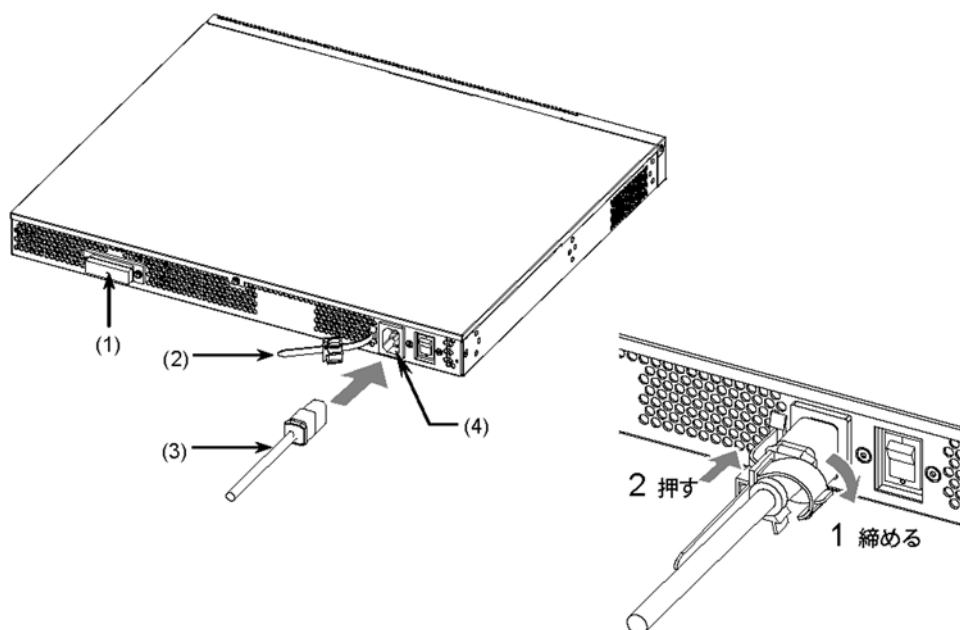
(1) 電源モジュール

(2) 電源モジュールスロット

【ステップ3】 装置本体への電源ケーブルの取り付け

装置背面の AC 電源コネクタに付属の電源ケーブルを取り付けます。

図 2-46 AC 電源ケーブルの取り付け



- (1) 予備電源給電コネクタ（保護キャップ付き）
- (2) ケーブルクランプ
- (3) AC 電源ケーブル
- (4) AC 電源コネクタ

⚠ 警告

本装置を AC100V で使用する場合、電源ケーブルは付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。また、付属の電源ケーブルを本装置以外で使用しないでください。本装置以外で使用した場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

AC 電源モデルを AC200V で使用する場合、電源ケーブルは弊社が指定する仕様のものを使用してください。それ以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

必ず接地付きのコンセントを使用してください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。

⚠ 警告

保護キャップはケーブルを取り付けるとき以外は取り外さないでください。保護キャップを取り外したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意

電源ケーブルの取り付け、取り外しは、本装置の電源スイッチを OFF にして行ってください。

NOTE

ラックに搭載している場合は、ラック付属のケーブルホルダーで電源ケーブルを固定し、ケーブルの根元に負荷がかからないようにしてください。

NOTE

弊社が指定する仕様の電源ケーブルについては、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

【ステップ4】 EPU への電源ケーブルの取り付け

EPU に電源ケーブルを取り付ける手順について説明します。

EPU には、AC 電源ケーブルと、装置本体に予備電源を給電するための予備電源給電ケーブルを接続します。



必ず接地付きのコンセントを使用してください。接地をせずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。

NOTE

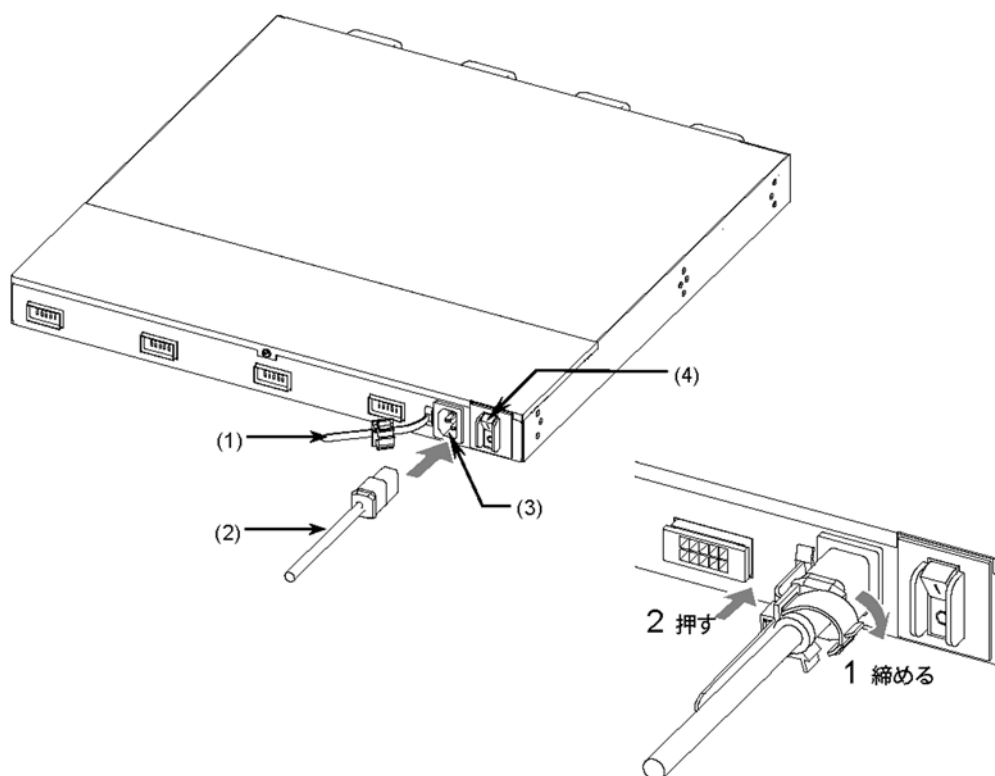
ラックに搭載している場合は、ラック付属のケーブルホルダーで電源ケーブルを固定し、ケーブルの根元に負荷がかからないようにしてください。

NOTE

以下は予備電源機構 EPU-A の場合の例です。EPU-B の場合も同様に作業を行ってください。

1. EPU に AC 電源ケーブルを取り付けます。

図 2-47 AC 電源ケーブルの取り付け



- (1) ケーブルクランプ
- (2) AC 電源ケーブル
- (3) AC 電源コネクタ
- (4) 主電源スイッチ

警告

電源ケーブルは付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。また、付属の電源ケーブルを本装置以外で使用しないでください。本装置以外で使用した場合、火災・感電の原因となります。

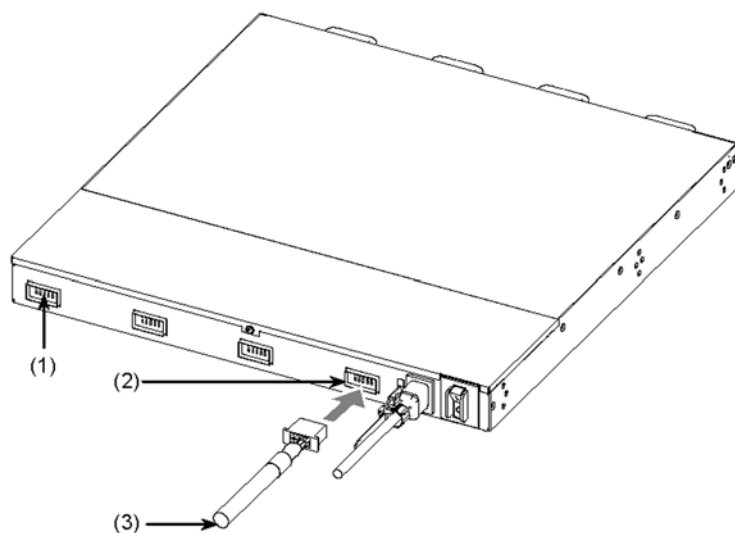
NOTE

電源ケーブルの取り付け、取り外しは、EPU の主電源スイッチを OFF にして行ってください。

2. 機器の設置

2. EPU に予備電源給電ケーブルを取り付けます（「カチッ」と音がするまで挿入します）。

図 2-48 予備電源給電ケーブルの取り付け（予備電源機構側）



- (1) 予備電源給電コネクタ（保護キャップ付き）
- (2) 予備電源給電コネクタ
- (3) 予備電源給電ケーブル

警告

保護キャップはケーブルを取り付けるとき以外は取り外さないでください。保護キャップを取り外したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意

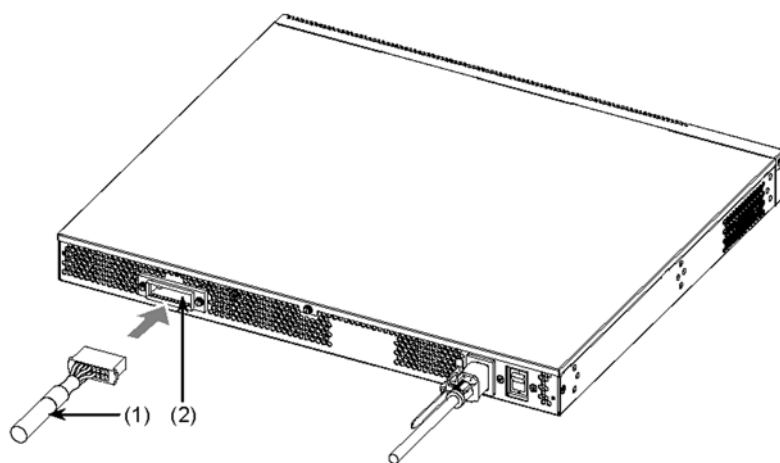
予備電源給電ケーブルの取り付け、取り外しは、取り付け、取り外しを行うスロットの電源モジュールの電源スイッチを OFF にして行ってください。

NOTE

1 台の予備電源機構（EPU）から複数の装置に予備電源を給電する場合は、予備電源給電コネクタ 2 以降にも予備電源給電ケーブルを取り付けます。その場合は、保護キャップを取り外して予備電源給電ケーブルを取り付けてください。
また、取り外した保護キャップは大切に保管しておいてください。

3. 装置本体に予備電源給電ケーブルを取り付けます（「カチッ」と音がするまで挿入します）。

図 2-49 予備電源給電ケーブルの取り付け（装置側）



- (1) 予備電源給電ケーブル
(2) 予備電源給電コネクタ（保護キャップ付き）

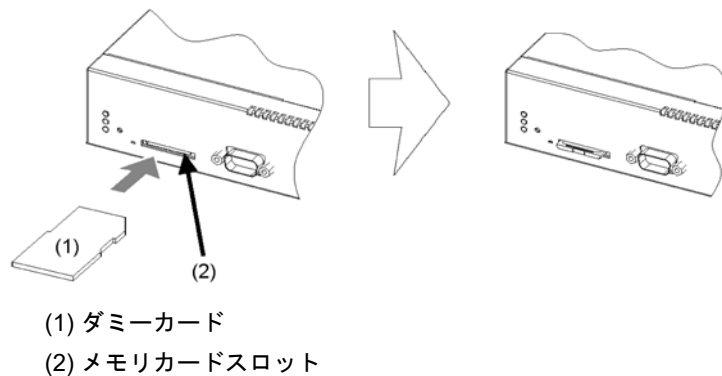
NOTE

保護キャップを取り外して予備電源給電ケーブルを取り付けてください。
また、取り外した保護キャップは大切に保管してください。

【ステップ5】 ダミーメモ리카ードの取り付け

「カチッ」と音がするまでダミーメモ리카ード（以下ダミーカード）を挿入し、ゆっくり指を離します。（ダミーカードの角がとれて斜めになった部分を右側にして取り付けてください。）

図 2-50 ダミーカードの取り付け



注意

ダミーカードを取り付ける場合は、ダミーカードを強く押したり、指ではじいたりしないでください。メモ리카ードスロットのコネクタ部を破損するおそれがあります。

NOTE

メモ리카ードスロットにほこりが付着しているときは、乾いた布などでほこりを除去してから取り付けてください。

NOTE

ダミーカードには、外観上2つのタイプがありますが、取り付け方法の違いはありません。なお、ダミーカードの詳細については「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

【ステップ6】 トランシーバの取り付け

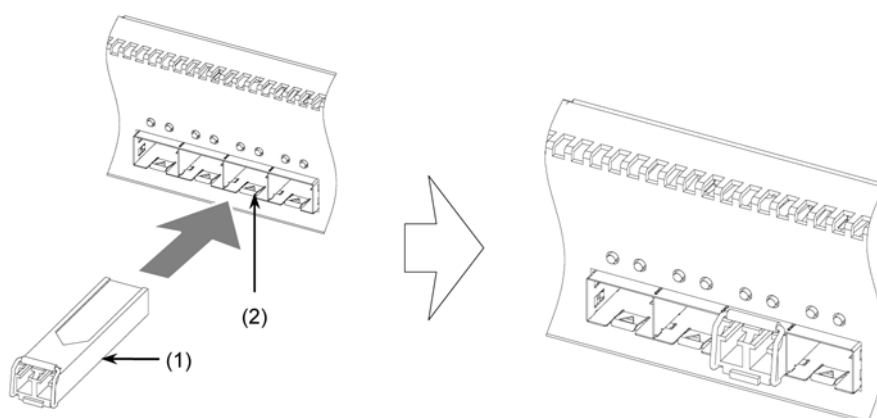


注意

レーザー光を使用しています（レーザー光は無色透明で目には見えません）。光送受信部を直接のぞいたり、光学機器を通してのぞいたりしないでください。

トランシーバをご購入いただいている場合はトランシーバを取り付けます。
レバーを図のように起こしたまま、「カチッ」と音がするまでトランシーバを挿入します。

図 2-51 トランシーバの取り付け



(1) SFP

(2) SFP スロット

NOTE

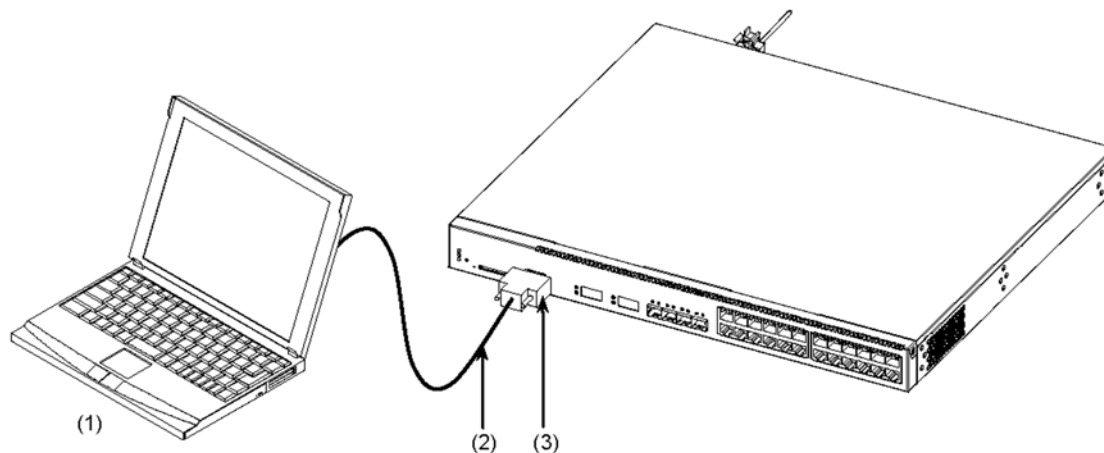
SFP+ の場合は SFP+ スロット、XFP の場合は XFP スロット、QSFP+ の場合は QSFP+ スロットに同様に取り付けてください。

【ステップ7】 セットアップ端末の接続

本装置にセットアップ端末を接続します。

1. 本装置の CONSOLE ポートにセットアップ端末を接続します。セットアップ端末を接続するには、RS-232C クロスケーブルを使用します。

図 2-52 セットアップ端末の接続



- (1) セットアップ端末
(2) RS-232C クロスケーブル
(3) CONSOLE ポート

NOTE

接続後はネジを締めてください。また、しっかり固定されていることを確認してください。

NOTE

RS-232C クロスケーブルの詳細については、「1.4 必要なものの準備」を参照してください。

2. セットアップ端末を起動します。
3. 通信ソフトを起動します。
4. 通信ソフトの設定を行います。

NOTE

通信パラメータについては、「1.4 必要なものの準備」を参照してください。また、通信ソフトの設定方法については、通信ソフトのマニュアルを参照してください。

【ステップ8】 インタフェースケーブルの取り付け

インタフェースポートにインタフェースケーブルを取り付けます。

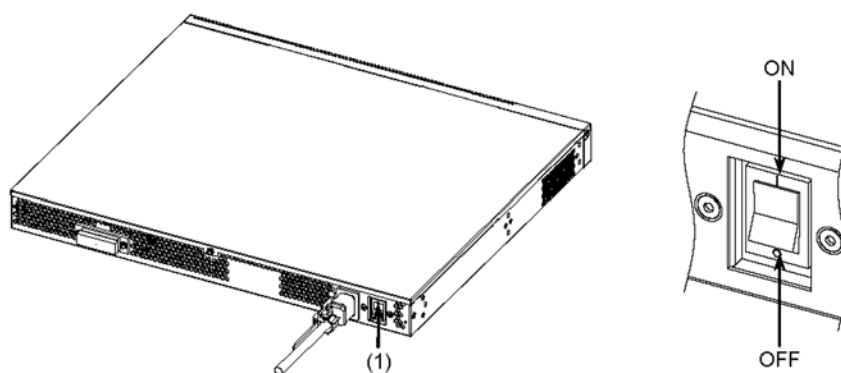
NOTE

PoE 接続する場合、UTP ケーブルを取り付けてから 2 秒以内に引き外し、取り付けを行うと、受電側の機器の電力クラスを正しく認識できないことがあります。引き外して再度取り付けを行う場合は、2 秒以上間隔を空けて取り付け直してください。

【ステップ9】 装置本体の電源の投入

装置本体の電源スイッチを ON にします。

図 2-53 電源の投入



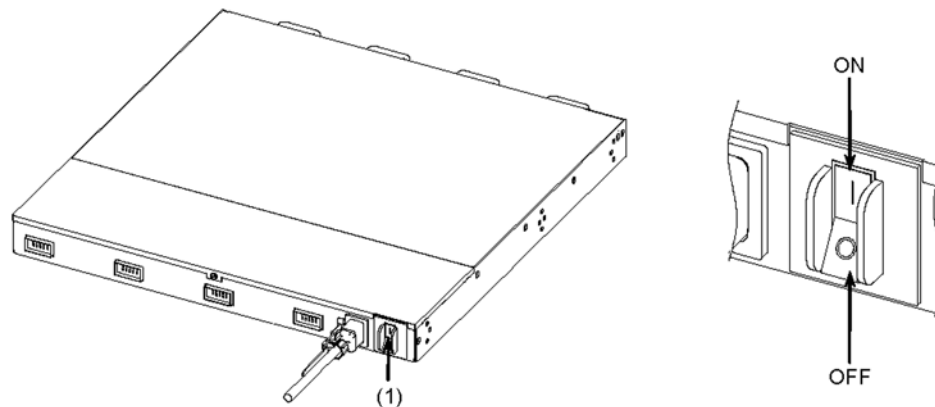
(1) 電源スイッチ

【ステップ 10】 EPU の電源の投入

EPU および電源モジュールのスイッチを ON にして、装置に予備電源を給電します。

1. EPU の主電源スイッチを ON にします。

図 2-54 電源の投入 (EPU)



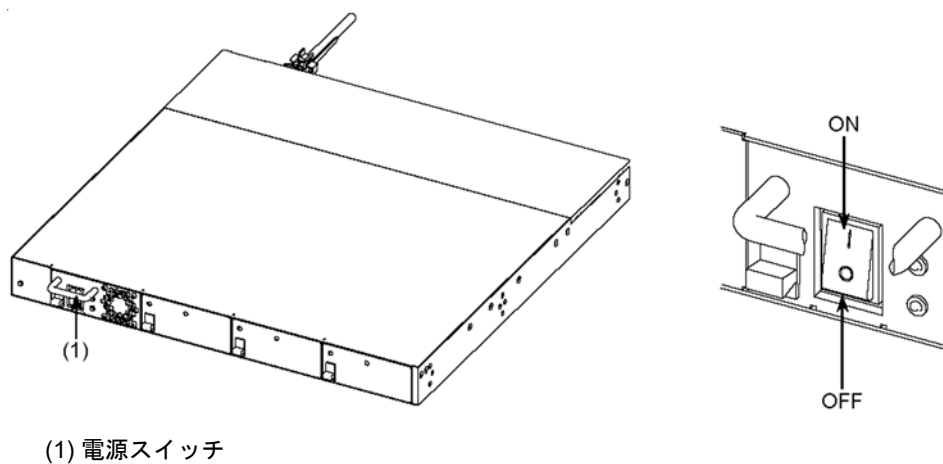
(1) 主電源スイッチ

注意

予備電源機構 (EPU) の主電源スイッチを ON にする場合は、搭載されている電源モジュールの電源スイッチをすべて OFF にして行ってください。

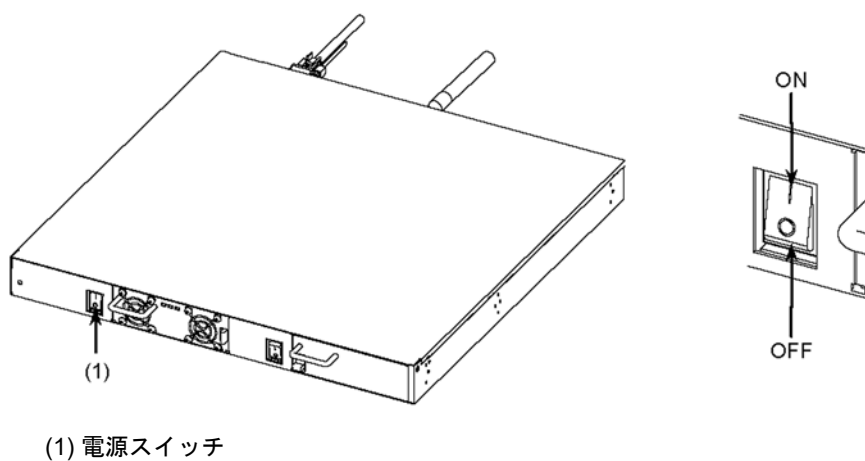
2. 電源モジュールの電源スイッチを ON にします。

図 2-55 電源の投入（電源モジュール）（EPU-A の場合）



(1) 電源スイッチ

図 2-56 電源の投入（電源モジュール）（EPU-B の場合）



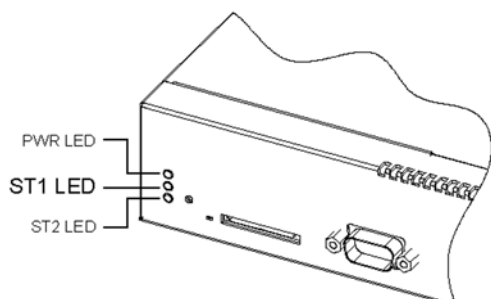
(1) 電源スイッチ

【ステップ 11】 LED の確認

装置、EPU、および電源モジュールの LED を確認します。

1. 装置正面パネルの ST1 LED を確認します。ST1 LED が緑点灯すると、装置が立ち上がったことを表わします。

図 2-57 LED の確認



NOTE

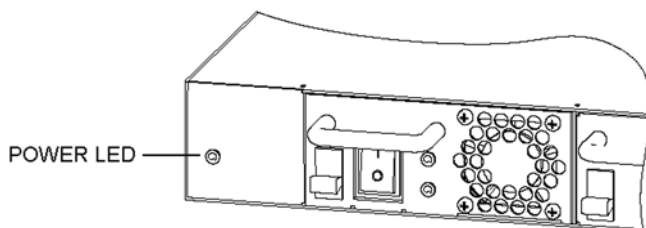
装置が立ち上がるまでの経過については、「2.2 その他の作業」を参照してください。

NOTE

ST1 LED が赤点滅または赤点灯した場合、装置に障害が発生しています。装置に障害が発生した場合は、「IP8800/S6700・IP8800/S6600・IP8800/S6300・IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 トラブルシューティングガイド」を参照して対処してください。

2. EPU 正面パネルの POWER LED が緑点灯していることを確認します。

図 2-58 LED の確認



NOTE

POWER LED が緑点灯しない場合、EPU に電源が給電されていないか、または EPU に障害が発生しています。
AC 電源ケーブルが正しく取り付けられているか、また、電源設備の電源が投入されているか確認してください。
上記で解決できない場合は、「IP8800/S6700・IP8800/S6600・IP8800/S6300・IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 トラブルシューティングガイド」を参照して対処してください。

3. 電源モジュールの LED（EPU-AM の場合 DC-OK LED, EPU-BM の場合 AC-OK および DC-OK）が緑点灯していることを確認します。

図 2-59 LED の確認（EPU-AM の場合）

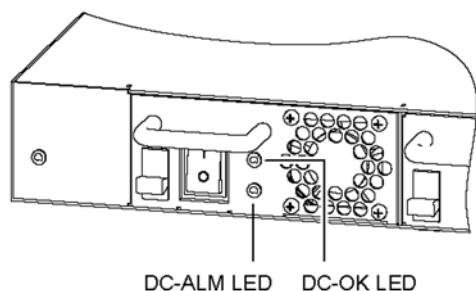
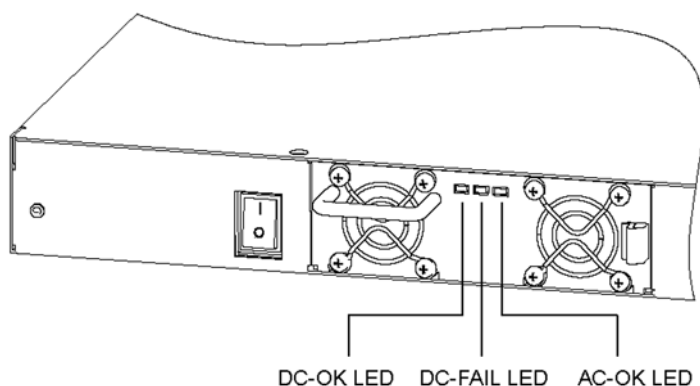


図 2-60 LED の確認（EPU-BM の場合）



NOTE

LED（EPU-AM の場合 DC-OK LED, EPU-BM の場合 AC-OK および DC-OK）が緑点灯しない場合、電源モジュールに電源が給電されていない可能性があります。電源モジュールの電源スイッチが ON になっているか、電源モジュールが正しく取り付けられているか確認してください。

上記で解決できない場合は、「IP8800/S6700・IP8800/S6600・IP8800/S6300・IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 トラブルシューティングガイド」を参照して対処してください。

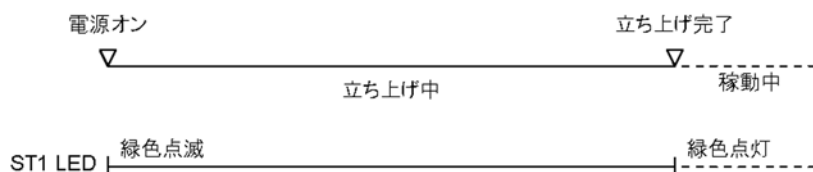
NOTE

LED（EPU-AM の場合は DC-ALM LED, EPU-BM の場合 DC-FAIL LED）が赤点灯した場合、電源モジュールに障害が発生しています。電源モジュールに障害が発生した場合は、「IP8800/S6700・IP8800/S6600・IP8800/S6300・IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 トラブルシューティングガイド」を参照して対処してください。

2.2 その他の作業

● 装置が立ち上がるまでの経過を確認する

電源を投入してから装置が立ち上がるまでの経過を説明します。



1. 電源投入後、装置正面パネルの ST1 LED が緑色に点滅し、立ち上げ処理を開始します。
2. 装置が立ち上がると、ST1 LED が緑色に点灯します。

● メモリカードについて

メモリカードは、以下のような場合に使用します。

- 運用情報のバックアップ
- 障害発生時、障害情報を保存するとき
- ソフトウェアをアップデートするとき

メモリカードの取り付けおよび取り外しについては、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

● 装置本体およびオプションの詳細について

装置本体およびオプションの詳細と取り扱いについては、「IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

3

初期導入時に必要な操作

この章では、初期導入時に必要な時刻の設定、装置管理者モードのパスワード設定、ユーザ ID の追加と削除について説明します。

3.1 コマンド入力モードの概要

3.2 初期導入時の操作の概要

3.3 ログイン

3.4 装置管理者モードのパスワード設定

3.5 ユーザ ID の追加と「operator」の削除

3.6 時刻の設定

3.1 コマンド入力モードの概要

本装置のコマンドラインインタフェース（CLI）のコマンド入力モードには、一般ユーザモード、装置管理者モード、およびコンフィグレーションコマンドモードがあります。

本装置のコンフィグレーションを設定・変更したり、装置の状態を参照したりする場合、適切なコマンド入力モードに遷移し、コンフィグレーションや運用コマンドを入力する必要があります。

それぞれのコマンド入力モードの特徴は、以下のとおりです。各コマンド入力モードへのアクセス方法と終了方法については、「表 3-1 コマンド入力モードについて」を参照してください。

表 3-1 コマンド入力モードについて

コマンド入力モード	モード移行コマンド	プロンプト	終了方法	説 明
一般ユーザモード	login: <ユーザ ID>	>	> logout	configure, adduser コマンドなど一部のコマンドを除く、運用コマンドを使用することができます。
装置管理者モード	> enable	#	# disable	すべての運用コマンドを使用することができます。
コンフィグレーションコマンドモード	# configure	(config)#	(config)# exit	すべてのコンフィグレーションコマンドを使用することができます。

● 一般ユーザモード

本装置にログインした状態は、一般ユーザモードです。

一般ユーザモードでは、一部のコマンドを除く運用コマンドを実行することができます。

ユーザアカウントの新規登録や削除およびコンフィグレーションコマンドモードに移行する **configure** コマンドは、一般ユーザモードでは実行することができません。装置管理者モードで実行する必要があります。

● 装置管理者モード

一般ユーザモードで **enable** コマンドを入力すると、装置管理者モードに移行します。

装置管理者モードでは、すべての運用コマンドを使用することができます。

初期導入時は、**enable** コマンドにパスワードが設定されていません。セキュリティの低下を防ぐため、**enable** コマンドにパスワードを設定し、装置管理者モードを使用するユーザを制限しておくことを推奨します。

● コンフィグレーションコマンドモード

装置管理者モードで **configure** コマンドを入力するとコンフィグレーションコマンドモードになります。コンフィグレーションコマンドモードにおいてコンフィグレーションコマンドを使用することにより、本装置のコンフィグレーションを設定・変更することができます。

NOTE

コンフィグレーションコマンドモードは階層構造になっています。
上記の (config)# をグローバルコンフィグレーションモードと呼び、その下にコマンドの種類により分類された入力モードがあります。コンフィグレーションコマンドモードの詳細については、「ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド」を参照してください。

NOTE

運用コマンドがどのコマンド入力モードで実行することができるかは、「ソフトウェアマニュアル 運用コマンドレファレンス」に記載されています。
また、コンフィグレーションコマンドがどの入力モードで実行することができるかは、「ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションコマンドレファレンス」に記載されています。

3.2 初期導入時の操作の概要

初期導入時に必要な操作の概要を以下に示します。

各操作の詳細については次節以降を参照してください。

NOTE

以下は、初期導入時に最低限必要な操作です。
その後の操作の詳細については、「4.1 本装置の操作の詳細について」に記載されたマニュアルを参照してください。

(1) ログイン

本装置にログインします。初期導入時に設定されているユーザ ID「operator」を使用します（「operator」にはパスワードが設定されていないため、認証なしでログインできます）。

(2) 装置管理者モードのパスワード設定

`enable` コマンドで装置管理者モードに移行する際のパスワードを設定します。初期導入時、このパスワードは設定されていません。セキュリティの低下を防ぐため、装置管理者モードのパスワードを設定してください。

(3) ユーザ ID の追加と「operator」の削除

新しくユーザ ID を作成します。

また、初期導入時に設定されているログインユーザ「operator」を運用中のログインユーザとして使用しない場合は、セキュリティの低下を防ぐため、新しいログインユーザを作成したあとに `rmuser` コマンドで削除することを推奨します。

(4) 時刻の設定

タイムゾーンおよび時刻の設定を行います。初期導入時、時刻は設定されていません。時刻は障害情報を採取する場合に重要な情報ですので、正確な時刻を設定してください。

NOTE

本装置は、一度時刻を設定すると、電源を切断しても約 10 日間は設定を保持できます。10 日以上経過した場合は、次の電源投入時に時刻を再設定する必要があります。

3.3 ログイン

装置を起動すると、「login」プロンプトが表示されます。「login」プロンプトの後に、ユーザ ID を入力して装置にログインします。

NOTE

Ver.11.14.S 以降のソフトウェアでは、パスワード未設定のユーザ（初期ユーザの operator を含む）でログインを行う場合でも「Password:」プロンプトが表示されます。また、パスワード未設定のユーザでログインした場合、パスワード設定を促すバナーが表示されます。

login: operator	...ユーザ名「operator」を入力します。
Password:	... [Enter] キーを入力します。（Ver 11.14.S 以降）
No password is set. Please set password!	...バナーが表示されます。（Ver 11.14.S 以降）

Copyright (c) 20XX ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.

NOTE

以下の説明では、ソフトウェアのバージョンによって、表示される内容が多少異なる場合がありますが、基本的な操作方法に変わりはありません。

3.4 装置管理者モードのパスワード設定

装置管理者モードのパスワードを設定します。

<pre>> <i>enable</i></pre>	...装置管理者モードに移行します。
<pre># <i>password enable-mode</i></pre>	...装置管理者モードのパスワード設定ができるようにします。
<pre>Changing local password for admin.</pre>	
<pre>New password: *****</pre>	...装置管理者モードのパスワードを設定します。
<pre>Retype new password: *****</pre>	...確認のため、再度パスワードを入力します。
<pre>#</pre>	

NOTE

パスワードの文字数は、6文字以上を設定することをお勧めします。6文字未満の文字を入力した場合はエラー表示をしますが、再度入力すれば設定できます。また、パスワードの文字数は128文字以下を設定してください。129文字以上入力した場合は、128文字までがパスワードとして登録されます。なお、パスワードには英大文字、数字または記号を含むことをお勧めします。すべて英小文字のパスワードを入力した場合は、エラー表示をしますが再度入力すれば設定できます。

3.5 ユーザ ID の追加と「operator」の削除

【ステップ 1】 ユーザ ID の作成とログインパスワードの設定

新しくユーザ ID を作成し、ログインパスワードを設定します。

以下の例では、新規ユーザ ID 「newuser」 の作成とログインパスワードの設定について説明します。

```
# adduser newuser ...新しくユーザ ID 「newuser」 を設定します。
User(empty password) add done. Please setting password.
Changing local password for newuser.
New password: ***** ...ユーザ ID「newuser」にログインパスワードを設定します。
Retype new password: ***** ...確認のため、再度パスワードを入力します。
# disable ...一般ユーザモードに戻ります。
> logout ...ログアウトします。
```

NOTE

パスワードの文字数は、6 文字以上を設定することをお勧めします。6 文字未満の文字を入力した場合はエラー表示をしますが、再度入力すれば設定できます。また、パスワードの文字数は 128 文字以下を設定してください。129 文字以上入力した場合は、128 文字までがパスワードとして登録されます。なお、パスワードには英大文字、数字または記号を含むことをお勧めします。すべて英小文字のパスワードを入力した場合は、エラー表示をしますが再度入力すれば設定できます。

【ステップ 2】 ユーザ ID 「operator」の削除

初期導入時に設定されているユーザ ID 「operator」を削除します。

```
login: newuser ...新しく作成したユーザ ID 「newuser」でログインします。
Password: ***** ...ログインパスワードを入力します（ステップ 1 で設定したパスワードを入力します）。

Copyright (c) 2005 ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.

> enable ...装置管理者モードになります。
Password: ***** ...装置管理者モードのパスワードを入力します。
# rmuser operator ...初期導入時に設定されているユーザ ID 「operator」を削除します。
Delete user 'operator'? (y/n): y
#
```

3.6 時刻の設定

タイムゾーンと時刻を設定します。

以下の例では、日本時間で時刻を「2005 年 12 月 1 日 15 時 30 分」に設定する場合の手順を説明します。

<pre># <i>configure</i> (config)# <i>clock timezone JST +9</i> !(config)# <i>save</i> (config)# <i>exit</i> # <i>set clock 0512011530</i> Thu Dec 1 15:30:00 JST 2005 # <i>disable</i> > <i>logout</i></pre>	...コンフィグレーションコマンドモードに切り換えます。 ...タイムゾーンに JST, UTC からのオフセットを+9 に設定します。 ...タイムゾーンの設定を保存します。 ...装置管理者モードに戻ります。 ...日付と時刻（年月日時分）をそれぞれ 2 桁の値で入力します。 ...設定された時刻が表示されます。 ...一般ユーザモードに戻ります。 ...ログアウトします。
---	--

NOTE

コンフィグレーションが変更されると、プロンプトの先頭に「!」が表示されます。コンフィグレーションを保存すると「!」が消えます。

NOTE

本装置は、一度時刻を設定すると、電源を切断しても約 10 日間は設定を保持できます。10 日以上経過した場合は、次の電源投入時に時刻を再設定する必要があります。

NOTE

タイムゾーンの設定は、電源を切断してもコンフィグレーションに保持されます。10 日以上経過した場合でも、再設定は不要です。

以上で、初期導入時に必要な時刻の設定、装置管理者モードのパスワード設定、ユーザ ID の追加と削除を終了します。

NOTE

上記の操作を行った後の運用管理およびコンフィグレーションの設定については、「4 その後の作業」に記載されたマニュアルを参照してください。

4

その後の作業

この章では、本装置に詳細な設定を行う場合や、運用状態の確認、トラブル発生時に参照するマニュアルについて説明しています。

4.1 本装置の操作の詳細について

4.2 トラブルシュート

4.1 本装置の操作の詳細について

本ガイドでは、初期導入時に最低限必要な操作のみを説明しています。

本装置の豊富な機能は、運用管理およびコンフィグレーションの設定を行うことでご活用いただけます。本ガイドをお読みになった後は、お客様のシステムに合わせた運用管理およびコンフィグレーションの設定を行ってください。

なお、運用管理およびコンフィグレーションの設定の詳細については、「表 4-1 運用管理とコンフィグレーションの設定について」のマニュアルを参照してください。

また、運用コマンドの詳細については「表 4-2 運用コマンドの詳細について」のマニュアルを、コンフィグレーションコマンドの詳細については「表 4-3 コンフィグレーションコマンドの詳細について」のマニュアルを参照してください。

表 4-1 運用管理とコンフィグレーションの設定について

シリーズ名	参照するマニュアル
IP8800/S2400 シリーズ	IP8800/S2400 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.1 IP8800/S2400 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.2
IP8800/S3640・ IP8800/S3630 シリーズ	IP8800/S3640・IP8800/S3630 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.1 IP8800/S3640・IP8800/S3630 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.2 IP8800/S3640・IP8800/S3630 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.3
IP8800/S3800・ IP8800/S3650 シリーズ	IP8800/S3800・IP8800/S3650 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.1 IP8800/S3800・IP8800/S3650 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.2 IP8800/S3800・IP8800/S3650 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド Vol.3

表 4-2 運用コマンドの詳細について

シリーズ名	参照するマニュアル
IP8800/S2400 シリーズ	IP8800/S2400 ソフトウェアマニュアル 運用コマンドレファレンス
IP8800/S3640・ IP8800/S3630 シリーズ	IP8800/S3640・IP8800/S3630 ソフトウェアマニュアル 運用コマンドレファレンス Vol.1 IP8800/S3640・IP8800/S3630 ソフトウェアマニュアル 運用コマンドレファレンス Vol.2
IP8800/S3800・ IP8800/S3650 シリーズ	IP8800/S3800・IP8800/S3650 ソフトウェアマニュアル 運用コマンドレファレンス Vol.1 IP8800/S3800・IP8800/S3650 ソフトウェアマニュアル 運用コマンドレファレンス Vol.2

表 4-3 コンフィグレーションコマンドの詳細について

シリーズ名	参照するマニュアル
IP8800/S2400 シリーズ	IP8800/S2400 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションコマンドレファレンス
IP8800/S3640・ IP8800/S3630 シリーズ	IP8800/S3640・IP8800/S3630 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 IP8800/S3640・IP8800/S3630 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2
IP8800/S3800・ IP8800/S3650 シリーズ	IP8800/S3800・IP8800/S3650 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 IP8800/S3800・IP8800/S3650 ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2

NOTE

コンフィグレーションの設定を行った後は、運用情報のバックアップを行ってください。バックアップを行っておくと、障害などで装置を交換した後、運用情報の復旧を簡単に行うことができます。

バックアップについては、「ソフトウェアマニュアル コンフィグレーションガイド」を参照してください。

4.2 トラブルシュート

装置にトラブルが発生した場合には、以下のマニュアルを参照して対処してください。

表 4-4 トラブルと対処方法について

シリーズ名	参照するマニュアル
IP8800/S2400 シリーズ	IP8800/S6700・IP8800/S6600・IP8800/S6300・IP8800/S3800・IP8800/S3600・IP8800/S2400 トラブルシューティングガイド
IP8800/S3640・ IP8800/S3630 シリーズ	
IP8800/S3800・ IP8800/S3650 シリーズ	